Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX S220

クールピクス S220

使用説明書

商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSおよびQuickTimeは、Apple Inc.の商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDロゴおよびPictBridgeロゴは商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
発光禁止	**車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
発光禁止	**フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影する時は1 m以上離れてください。
保管注意	**幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。
保管注意	**ストラップが首に巻き付かないようにすること** **特に幼児、児童の首にストラップをかけないこと** 首に巻き付いて窒息の原因となります。
警告	**指定の電池または専用ACアダプターを使用すること** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
使用禁止	**ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意（カメラについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
保管注意	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。

保管注意	**使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。
使用注意	**航空機内で使うときは、離着陸時に電源をOFFにすること** **病院で使うときは病院の指示に従うこと** 本機器が出す電磁波などにより、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。
電池を取る プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源(電池やACアダプター)を外すこと** 電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 ACアダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因となることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
禁止	**付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと** 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

⚠危険
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**専用の充電器を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
使用禁止	**Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL10は、ニコンデジタルカメラ専用の充電池で、COOLPIX S220に対応しています。EN-EL10に対応していない機器には使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと** ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。 持ち運ぶときはバッテリーケースに入れてください。
危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

保管注意	**電池は幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
使用禁止	**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠注意
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠警告
（バッテリーチャージャーについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
プラグを抜く すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。 電源プラグを抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
警告	**電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること** そのまま使用すると、火災の原因になります。
使用禁止	**雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
禁止	**電源コードを傷つけたり、加工したりしないこと** **また、重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、むりに曲げたりしないこと** 電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
感電注意	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと** 感電の原因となります。
禁止	**海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと** 発熱、故障、火災の原因となります。

⚠注意
（バッテリーチャージャーについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
放置禁止	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

目次

使用説明書について

ニコンデジタルカメラCOOLPIX S220をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

●本文中のマークについて

カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。

カメラを使用するときに、便利な情報を記載しています。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

関連情報を記載した参照ページを記載しています。

●表記について

- SDメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[ ] で囲って表記しています。

●画面例について

本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

●本文中のイラストについて

本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

内蔵メモリーとSDカードについて

本機は、内蔵メモリーとSDカードの両方に対応しています。SDカードをカメラにセットしているときは、SDカードが優先して使用されます。内蔵メモリーを使用して、撮影、再生、削除、初期化などの操作をするときは、SDカードをカメラから取り出してください。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

●カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録が行えます。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

●カスタマーサポート

下記のホームページでサポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL10 には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。

ホログラムシール

- 模倣品の Li-ion リチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が出せないことや、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故や故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書のPDFファイルをダウンロードすることができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/support/manual/

  ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

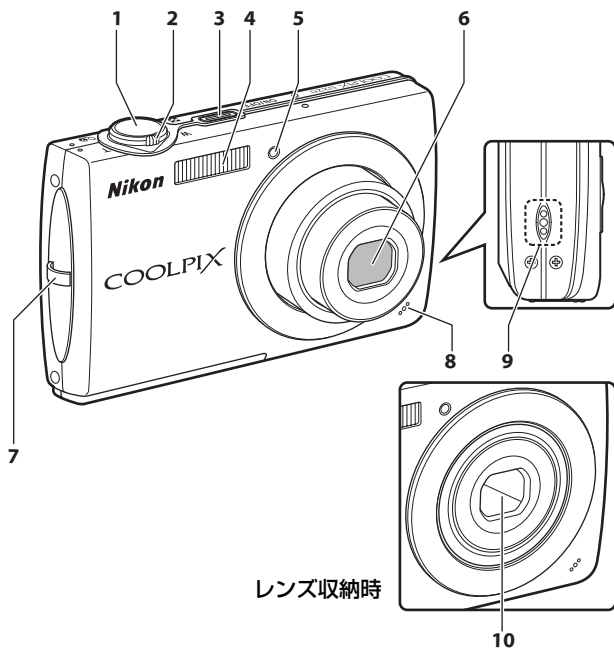
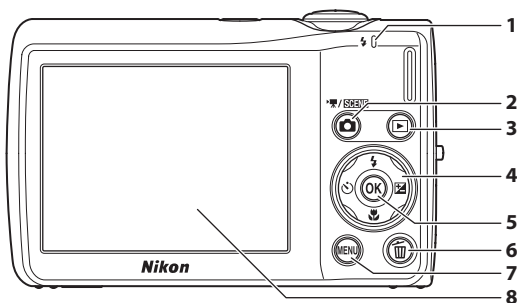
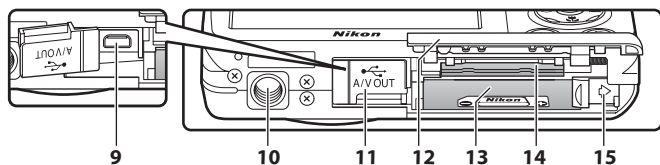
メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、「オープニング画面」の「撮影した画像」（□114）も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビの近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。

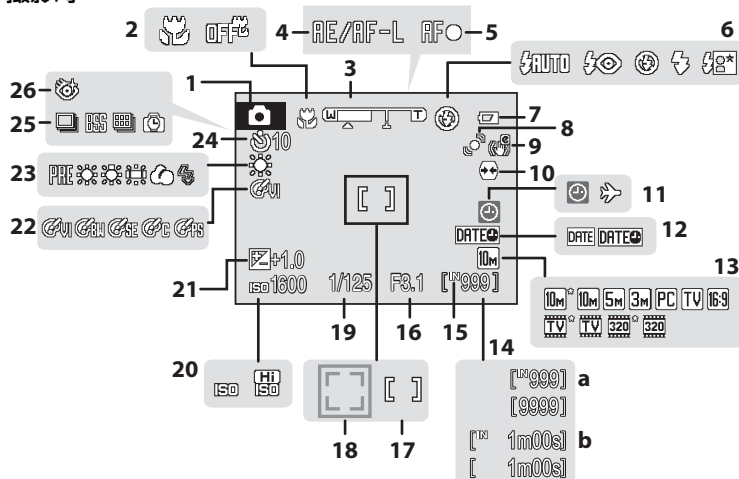
使用説明書にしたがって正しくお取り扱いください。

各部の名称

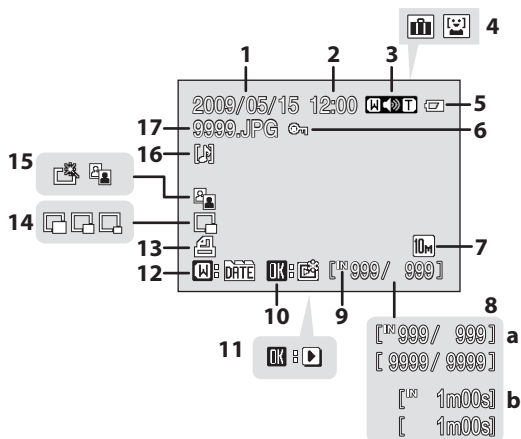
カメラ本体

1	シャッターボタン 24	
2	ズームレバー 23	
	W	：広角ズーム 23
	T	：望遠ズーム 23
	⊞	：サムネイル表示 47
	🔍	：拡大 49
	❓	：ヘルプ 11
3	電源スイッチ/電源ランプ ....20、122	
4	内蔵フラッシュ 28	
5	セルフタイマーランプ 30	
6	レンズ ....132、146	
7	ストラップ取り付け部 11	
8	マイク ....55、70、74	
9	スピーカー ....56、73、76	
10	レンズバリアー 133	

端子カバーの開閉

1	表示ランプ ....74 フラッシュランプ 29
2	（撮影モード）ボタン 8
3	（再生）ボタン ....8、26
4	マルチセレクター 9
5	（決定）ボタン 9
6	（削除）ボタン ....26、27、56、73、77
7	MENU（メニュー）ボタン ....10、33、71、92、105、112
8	液晶モニター 6
9	ケーブル接続端子 ......79、81、85
10	三脚ネジ穴
11	端子カバー /パワーコネクターカバー ....79、81、85、129
12	バッテリー /SDカードカバー ....14、18
13	バッテリー室 14
14	SDカードスロット 18
15	バッテリーロックレバー ....14、15

液晶モニターの表示内容

説明のため、すべての表示を点灯させています。
撮影、再生時の画面に表示される情報は、数秒経過すると消灯します（□118）。

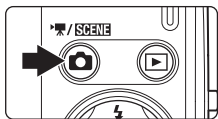
撮影時

1	撮影モード※	20、33、45、70
2	マクロモード	31
3	ズーム表示	23、31
4	AE/AF-L表示	44
5	AF表示	24
6	フラッシュモード	28
7	バッテリーチェック	20
8	モーション検知表示	21、120
9	電子式手ブレ補正	113
10	ゆがみ補正	103
11	時計マーク	136
	ワールドタイム	115
12	デート写し込み	119
13	画像モード	93
	動画設定	71
14	a 記録可能コマ数（静止画）	20
	b 記録可能時間（動画）	70
15	内蔵メモリー表示	21
16	絞り値	24
17	AFエリア	24、100
18	AFエリア（顔認識時）	24、100
19	シャッタースピード	24
20	ISO感度表示	29、99
21	露出補正値	32
22	ピクチャーカラー	99
23	ホワイトバランス	95
24	セルフタイマー	30
25	連写モード	97
26	目つぶり軽減	46

※　撮影モードによって表示されるアイコンが異なります。

再生時

1	撮影日 16	9	内蔵メモリー表示 26
2	撮影時刻 16	10	お気に入り登録ガイド 65
3	音量表示 ....55、73、76	11	動画再生ガイド 73
4	オート分類項目表示※1 .... 60 お気に入りフォルダー表示※1 66	12	撮影日一覧ガイド 57
5	バッテリーチェック 20	13	プリント指定表示 90
6	プロテクト表示 108	14	スモールピクチャー 54
7	画像モード※2 .... 93 動画設定※2 71	15	簡単レタッチ済み表示 .... 51 D-ライティング済み表示 52
8	a 画像の番号/全画像数 .... 26 b 動画の再生時間 73	16	音声メモ表示 56
		17	ファイル名 130

※1 再生時に選んだオート分類項目やお気に入りフォルダーのアイコンが表示されます。
※2 撮影時の設定によって、表示されるアイコンが異なります。

主なボタン操作とヘルプの使い方

（撮影モード）ボタン

- 再生モードで ボタンを押すと、撮影モードになります。
- 撮影モードで ボタンを押すと、撮影モードメニューを表示します。

撮影モードメニュー

撮影モードメニューでは、マルチセレクターを使って撮影モードの切り換えができます。

1. オート撮影（20）
2. シーン※（33）
3. 笑顔撮影（45）
4. 動画（70）

※ 前回設定したシーンモードによって、表示されるアイコンが異なります。

撮影モードメニュー表示中に、もう一度ボタンを押すと撮影モードに戻ります。

（再生）ボタン

- 撮影モードで ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生モードで ボタンを押すと、再生モードメニューを表示します。
- 電源がOFFの状態でボタンを押し続けると、再生モードで電源をONにできます。

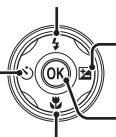
再生モードメニュー

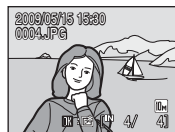
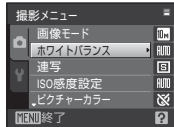
再生モードメニューでは、マルチセレクターを使って再生モードの切り換えができます。

1. 再生（26）
2. お気に入り再生（63）
3. オート分類再生（60）
4. 撮影日一覧（57）

再生モードメニュー表示中に、もう一度ボタンを押すと再生モードに戻ります。

マルチセレクター

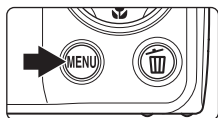
モードやメニューを選んで決定するときは、マルチセレクターを使います。

撮影時に使う

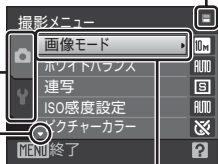
再生時に使う

メニュー画面で使う

マルチセレクターの使い方の記載について

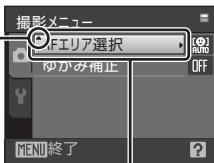
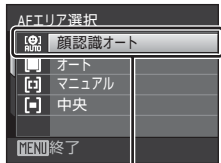
本書では、マルチセレクターの上、下、左、右の各操作部を▲、▼、◀、▶と表記する場合があります。

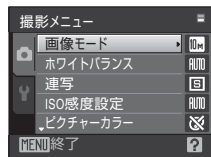
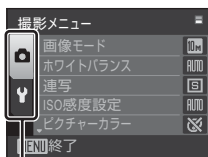
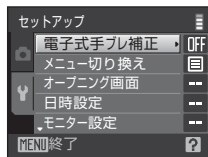
MENU（メニュー）ボタン

MENUボタンを押すと、選んでいるモードに応じたメニューを表示します。

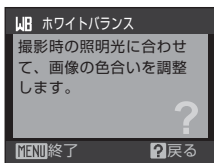
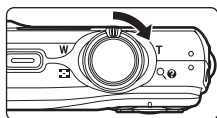
- 各メニュー項目を設定するには、マルチセレクターを使います（□9）。
- 左側のYタブを選ぶと、セットアップメニューを表示できます。
- メニュー表示を終了するには、もう一度MENUボタンを押します。

メニュー画面が2ページ以上あるとき

・上タブ：使用中のモードで使えるメニューを表示
・下タブ：セットアップメニューを表示

下にもメニュー項目があるとき　選ばれた項目

上にもメニュー項目があるとき

OKボタンを押す、またはマルチセレクターの▶を押すと、選んだ項目の設定画面を表示します。

OKボタンを押す、またはマルチセレクターの▶を押すと、設定を確定します。

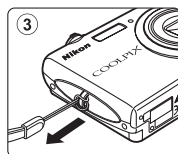
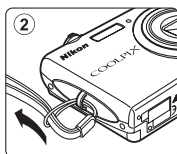
タブの切り換え方法

マルチセレクターの◀を押してタブに入ります。

マルチセレクターの▲▼を押してタブを選び、OKボタンまたは▶を押します。

選んだタブのメニューが表示されます。

ヘルプの表示方法

メニュー画面の下に?/❓が表示されているときにズームレバーを**T**（❓）方向に回すと、選んでいる項目の説明（ヘルプ）を表示できます。
メニュー画面に戻るには、もう一度ズームレバーを**T**（❓）方向に回します。

シャッターボタンの半押しと全押し

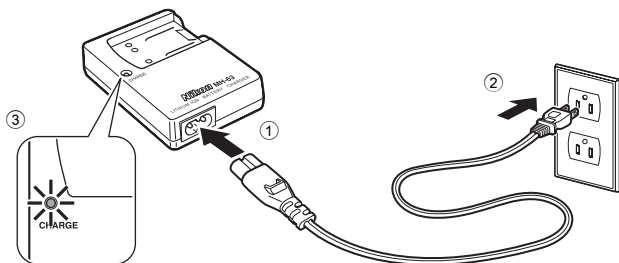
シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しするとピントと露出が合い、そのまま深く押し込む（全押しする）と、シャッターがきれます。シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

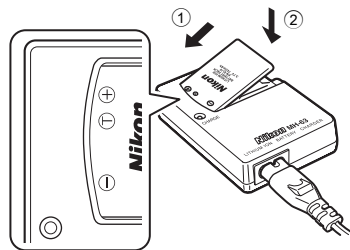
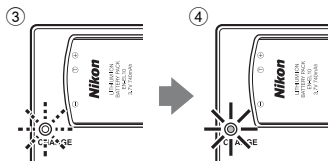
半押しすると、ピントと露出が固定　　そのまま深く押し込んで撮影

ストラップの取り付け方

バッテリーを充電する

ご購入直後やバッテリー残量が少なくなったときは、付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL10（リチウムイオン充電池）を、付属のバッテリーチャージャー MH-63（充電器）で充電してください。

1 バッテリーチャージャーの電源コードを接続する

- 電源コードのACプラグをACプラグ差し込み口に①、電源プラグをコンセントに差し込みます②。CHARGEランプが点灯して、通電中であることをお知らせします③。

2 リチャージャブルバッテリーを充電する

- リチャージャブルバッテリーを奥に押し込みながら①、バッテリーチャージャーにセットします②。

- CHARGE ランプが点滅し ③、充電が始まります。CHARGEランプが点灯したら④、充電完了です。
- 残量がないバッテリーの場合、充電時間は約100分です。

CHARGE ランプの状態と意味は以下のとおりです。

CHARGEランプ	意味
点滅	バッテリーは充電中です。
点灯	バッテリーの充電が完了しました。
速い点滅	• バッテリーのセットミスです。バッテリーを取り外して、バッテリーチャージャーに寝かせるようにセットしなおしてください。 • 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が5 ～ 35 ℃の室内で充電してください。 • バッテリーの異常です。ただちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。バッテリーおよびバッテリーチャージャーはご購入店またはニコンサービス機関にお持ちください。

3 **充電が完了したら、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外し、電源プラグをコンセントから抜く**

バッテリーチャージャーについてのご注意

- 付属のバッテリーチャージャーは、ニコンLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL10以外には使えません。
- バッテリーチャージャーをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「警告」（□v）、「注意」（□v）の注意事項を必ずお守りください。
- バッテリーチャージャーの電源コードは、MH-63以外の機器に接続しないでください。この電源コードは日本国内専用（AC 100 V対応）です。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）
http://shop.nikon-image.com/ でもお求めいただけます。

バッテリーについてのご注意

- リチャージャブルバッテリーをお使いになるときは、必ず「安全上のご注意」の「危険」（□iv）、「警告」（□iv）、「注意」（□iv）の注意事項をお守りください。
- 「取り扱い上のご注意　バッテリーについて」（□134）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。
- バッテリーは、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。

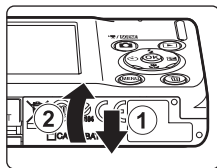
AC電源について

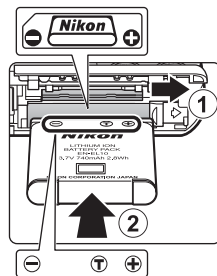
別売のACアダプター　EH-62D（□129）を使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からCOOLPIX S220へ電源を供給できます。EH-62D以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

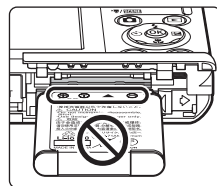
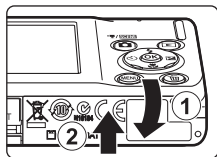
バッテリーを入れる

付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー（リチウムイオン充電池）EN-EL10をカメラに入れます。

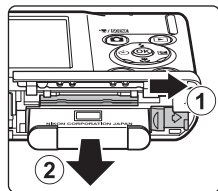
- ご購入直後やバッテリー残量が少なくなったときは、バッテリーを充電してからお使いください（□12）。

1 バッテリー /SDカードカバーを開ける

2 バッテリーを奥まで差し込む

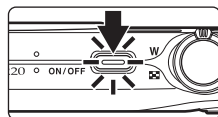
- バッテリー室内の表示を見ながら、＋と－を正しい向きで入れてください。
- バッテリーでオレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押しながら①、奥まで差し込んでください②。奥まで差し込むと、バッテリーロックレバーでバッテリーが固定されます。

☑ 逆挿入に注意

バッテリーの向きを間違えると、カメラを破損する恐れがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

3 バッテリー /SDカードカバーを閉じる

バッテリーを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けてください。
オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと①、バッテリーが押し出されるので、まっすぐ引き抜いてください②。

- カメラを使った直後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

電源をON/OFFするには

電源スイッチを押すと電源がONになり、電源ランプ（緑色）が一瞬点灯し、液晶モニターが点灯します。もう一度電源スイッチを押すと、電源はOFFになります。
電源がOFFになると、電源ランプと液晶モニターの両方が消灯します。

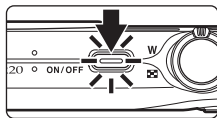
- 電源がOFFの状態で▶ボタンを押し続けると、再生モードで電源をONにできます（□27）。

撮影時の節電機能について

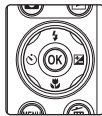
カメラを操作しない状態が約1分（初期設定）続くと、液晶モニターが自動的に消灯して待機状態になります。そのまま約3分経過すると、電源が自動的にOFFになります（オートパワーオフ機能）。
待機状態で液晶モニターが消灯しているときは、電源スイッチまたはシャッターボタンを押すと液晶モニターが点灯します。
待機状態になるまでの時間は、セットアップメニュー（□111）の［**オートパワーオフ**］（□122）で変更できます。

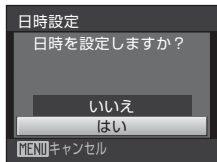
表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- 電源ランプ（緑色）が一瞬点灯し、液晶モニターが点灯します。

2 マルチセレクターで表示言語を選び、㊍ボタンを押す

- マルチセレクターの使い方→□9

3 ［はい］を選び、㊍ボタンを押す

- 日時設定を中止するときは［**いいえ**］を選びます。

4 ◀または▶を押して自宅のあるタイムゾーン（都市名）（□117）を選び、㊍ボタンを押す

夏時間を設定する

夏時間（サマータイム）が現在実施されているときは、手順4の地域設定画面で▲を押して夏時間の設定をオンにします。
設定をオンにすると、画面上部に夏時間マークが表示されます。
オフにするときは、▼を押してください。

5 日時を合わせる

- ▲ または ▼ を押してカーソルのある項目を合わせます。
- ▶ を押すと、カーソルは［**年**］→［**月**］→［**日**］→［**時**］→［**分**］→［**年月日**］（日付の表示順）に移動します。
  ◀を押すと、カーソルは前の項目に移動します。

6 ［**年月日**］の表示順を選び、Ⓚボタンまたは▶を押して決定する

- 設定が有効になり、撮影画面になります。

設定した日時を変更する

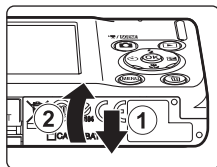
- すでに設定した日時を変更するときは、セットアップメニュー（▯111）の［**日時設定**］（▯115）で［**日時**］を選び、上記の手順5から設定してください。
- 地域（タイムゾーン）や夏時間の設定を変更するときは、セットアップメニューの［**日時設定**］から［**ワールドタイム**］を選んで設定してください（▯115）。

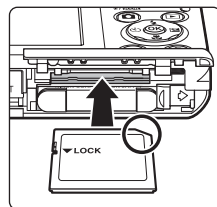
SDカードを入れる

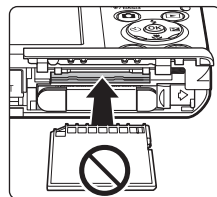
撮影または録音したデータは、カメラの内蔵メモリー（約44 MB）、または市販のSDカード（📖129）のどちらかに記録されます。

カメラにSDカードを入れるとSDカードに記録し、SDカードのデータを再生、削除、または転送します。内蔵メモリーを使うときは、SDカードを取り出してください。

1 電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー /SDカードカバーを開ける

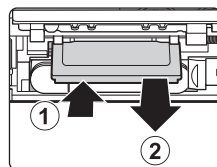
- バッテリー/SDカードカバーを開けるときは、必ず電源をOFFにしてください。

2 SDカードを入れる

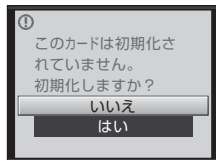
- 右図のように正しい向きで、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 挿入後、バッテリー/SDカードカバーを閉めてください。

逆挿入に注意

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

SDカードを取り出すときは

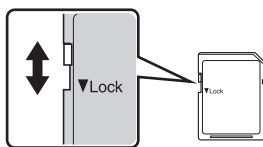
電源をOFFにし、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー /SDカードカバーを開けてください。カードを指で軽く奥に押し込むと①、カードが押し出されます。まっすぐ引き抜いてください②。

SDカードの初期化

このカードは初期化さ
れていません。
初期化しますか？
いいえ
はい

電源をONにしたときに右の画面が表示された場合は、SDカードを初期化する必要があります。**ただし、SDカードを初期化（📖123）すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。**カード内に必要なデータが残っているときは、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。
マルチセレクターで［**はい**］を選び、Ⓚボタンを押してください。確認画面が表示されたら、［**初期化する**］を選び、Ⓚボタンを押すと初期化が始まります。

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリー/SDカードカバーを開けたりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化（📖123）してからお使いください。

SDカードの書き込み禁止スイッチについてのご注意

SDカードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「Lock」の位置にすると、データの書き込みや削除を禁止して、カード内の画像を保護できます。撮影時や画像を削除するとき、カードを初期化するときは「Lock」を解除してください。

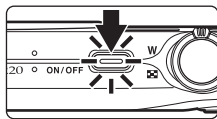
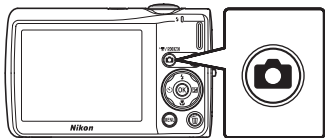
書き込み禁止スイッチ

SDカードの取り扱い上のご注意

- SDカード以外のメモリーカードは使えません。
- 初期化中、画像の記録や削除中、パソコンとの通信時などには、以下の操作をしないでください。記録しているデータの破損やカードの故障の原因となります。
  - カードを着脱しないでください
  - バッテリーを取り出さないでください
  - カメラの電源をOFFにしないでください
  - ACアダプターを外さないでください
- SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなどには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところ、腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

ステップ1　電源をONにして（オート撮影）を選ぶ

（オート撮影）モードでは、細かい設定を気にせず気軽に撮影できます。はじめてデジタルカメラを使う方でも簡単に撮影できます。

1 電源スイッチを押して電源をONにする

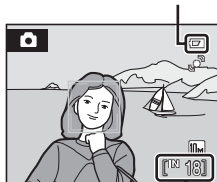
- 電源ランプ（緑色）が一瞬点灯し、液晶モニターが点灯します。このとき、レンズも繰り出します。
- 画面にが表示されているときは、手順4に進んでください。

2 ボタンを押す

3 マルチセレクターの▲▼でを選び、ボタンを押す

- （オート撮影）モードになります。

4 液晶モニターでバッテリー残量と記録可能コマ数を確認する

記録可能コマ数

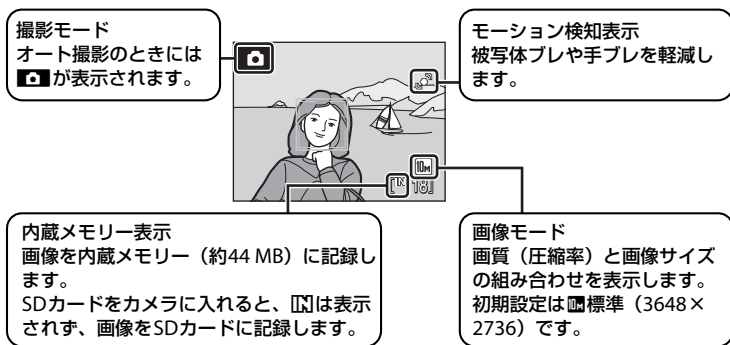
バッテリー残量

モニター表示	内容
表示なし	バッテリー残量は充分にあります。
	バッテリー残量が少なくなりました。 バッテリーの充電や交換の準備をしてください。
電池残量がありません	撮影できません。バッテリーを充電または交換してください。

記録可能コマ数

撮影できる残りのコマ数が表示されます。

記録可能コマ数は、内蔵メモリーまたはセットしているSDカードのメモリー残量と画像モードによって異なります（94）。

簡単な撮影と再生―オート撮影モードを使う

◘（オート撮影）モードでの液晶モニター表示

撮影、再生時の画面に表示される情報は、数秒経過すると消灯します（□118）。節電による待機状態で液晶モニターが消灯しているときは、電源スイッチまたはシャッターボタンを押すと液晶モニターが点灯します（□122）。

◘（オート撮影）モードで使用可能な機能について

◘（オート撮影）モードではフラッシュモード（□28）の変更、セルフタイマー（□30）、マクロモード（□31）、および露出補正（□32）の設定ができます。また、◘（オート撮影）モードのときに MENU ボタンを押すと、撮影メニュー（□92）の各項目を、撮影状況に合わせて設定できます。

モーション検知について

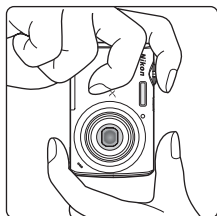
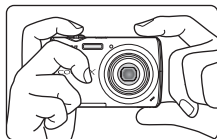
セットアップメニューの［**モーション検知**］（□120）が［**AUTO**］（初期設定）の場合は、カメラが被写体の動きや手ブレを検知したときに、シャッタースピードを速くしてブレを軽減します。
カメラがブレを検知してシャッタースピードを速くしたときは、モーション検知表示は緑色に変わります。

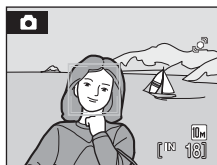
電子式手ブレ補正について

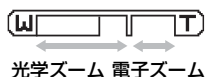
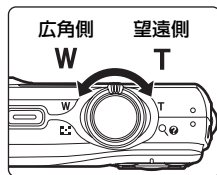
セットアップメニューの［**電子式手ブレ補正**］（□113）を［**AUTO**］にすると、フラッシュモード（□28）を⊛（発光禁止）または ⚡（スローシンクロ）にしたときなどに液晶モニターに ✋ が表示されることがあります。✋ が表示されたときは、手ブレしやすい撮影状況になると手ブレの影響を軽減して画像を記録します。

ステップ2　カメラを構え、構図を決める

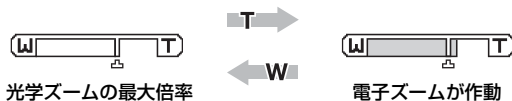
1 カメラをしっかりと構える

- カメラを両手でしっかりと持ってください。レンズやフラッシュ、マイク、スピーカーなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュ発光部をレンズより上にしてください。

2 構図を決める

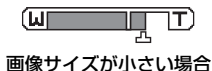
- カメラが人物の顔（正面）を認識したときは、顔が黄色い二重枠のAF（オートフォーカス）エリア表示で囲まれます（初期設定）。複数の人物の顔を認識したときは、最もカメラに近い人物の顔が二重枠のAFエリアで囲まれ、他の人物の顔が一重枠で囲まれます。
- 人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、AFエリアは表示されません。

ズームを使う

ズームレバーを回すと、光学ズームが作動します。被写体を大きく写したいときは**T**方向にズームレバーを回してください。広い範囲を写したいときは**W**方向にズームレバーを回してください。

ズームレバーを回すと液晶モニターの画面上部にズームの量が表示されます。

電子ズームについて

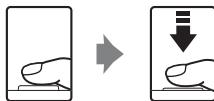
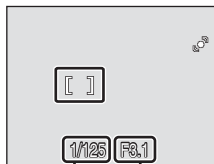
光学ズームを最も望遠側（光学ズームの最大倍率）にして、さらにズームレバーを**T**方向に回し続けると、電子ズームが作動します。光学ズームの最大倍率の約4倍まで拡大できます。電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。

電子ズームと画質の劣化について

電子ズームは光学ズームとは異なり、画像をデジタル処理で拡大するため、使用する画像モード（📖93）や電子ズーム倍率により、画質が劣化します。
ズーム表示の凸マークは、画質の劣化が始まるズーム位置を示しています。このマークを越えてズーム倍率を上げると劣化が始まり、ズーム表示も黄色に変わります。凸マークの位置は画像サイズが小さいほど右に移動しますので、設定した画像モードで画質を劣化させずに撮影できるズーム位置を事前に確認できます。

画像サイズが小さい場合

- セットアップメニュー（📖111）の［**電子ズーム**］（📖121）で、電子ズームが作動しない設定にできます。

ステップ3　ピントを合わせてシャッターボタンを押す

1　シャッターボタンを半押しする

- 人物の顔（正面）を認識した場合：
  二重枠のAFエリアで囲まれた顔にピントが合います。ピントが合うと二重枠が緑色になります。

- 人物以外の撮影や顔を認識できない構図の場合：
  9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリアが緑色に点灯します。

- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示（□6）が緑色に点灯します。
- 半押しするとシャッタースピードと絞り値が表示されます。
- 半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。
- 半押しして、顔認識の二重枠が点滅したときや、AFエリアまたはAF表示が赤色に点滅したときは、ピントが合っていません。構図を変えて、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。
- 顔認識について詳しくは、［**AFエリア選択**］（□100）と「顔認識撮影について」（□102）をご覧ください。

2　シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（全押しする）

- シャッターがきれ、画像が記録されます。

画像の記録についてのご注意

液晶モニターで「記録可能コマ数」が点滅しているときは、画像の記録中です。**バッテリー/SDカードカバーを開けないでください。**画像の記録中にSDカードやバッテリーを取り出すと、画像が記録されないことや、撮影した画像やカメラ、SDカードが壊れることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

次のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、同距離にある別の被写体にピントを合わせてフォーカスロック撮影（□101）をお試しください。

目つぶり検出について

顔認識して撮影した直後に［**目つぶり確認**］画面が表示されたときは、被写体の人物が目を閉じて写っている可能性があります。撮影した画像を見て、撮り直すかどうかを確認できます。

- ［**目つぶり確認**］画面では、目つぶり検出された人物は黄色い枠で囲まれます。
- 撮影画面に戻るにはⓀボタンを押すか、シャッターボタンを押します。
  詳しくは、「目つぶり検出設定」（□124）、「目つぶり確認画面の操作方法」（□125）をご覧ください。

フラッシュについて

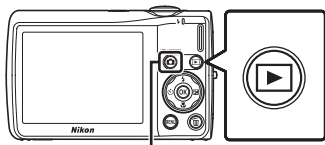
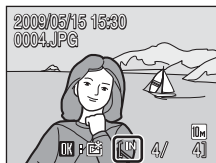
暗い場所などでは、シャッターボタンを全押ししたときにフラッシュが発光することがあります（□28）。

ステップ4　撮影した画像を再生する/削除する

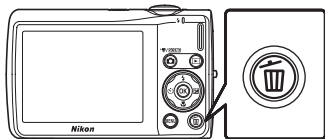
画像を再生する（再生モード）

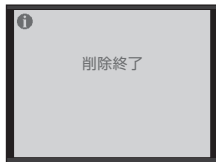
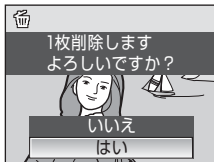
▶ボタンを押す

📷 ボタン

- 最後に撮影した画像が 1 コマ表示されます。
- マルチセレクターの ▲▼◀▶ で前後の画像を表示できます。
- 前の画像や次の画像に切り換えた直後は、表示が粗いことがあります。
- 撮影に戻るには、📷ボタンを押すか、シャッターボタンを押します。
- 内蔵メモリーの画像を再生しているときは、INが表示されます。SDカードをカメラに入れたときは、INは表示されず、SDカードの画像が再生されます。

内蔵メモリー表示

画像を削除する

1 削除したい画像を表示して 🗑 ボタンを押す

2 マルチセレクターで［**はい**］を選び、OKボタンを押す

- 削除をやめるときは、［**いいえ**］を選んでOKボタンを押します。

再生モードで使える機能

再生モードの1コマ表示中は、以下の機能が使えます。

機能	ボタン	内容	📖
画像を拡大する	T（🔍）	最大約10倍までの倍率に拡大します。Ⓚボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。	49
サムネイル表示/カレンダー表示にする	W（▦）	4コマ、9コマ、または16コマのサムネイル画像や、カレンダーを表示します。	47
お気に入りに登録する	Ⓚ	表示中の画像をお気に入りの画像として登録します。	65
再生モードを切り換える	▶	再生モードメニューを表示して、撮影日一覧モード、オート分類再生モード、お気に入り再生モードへの切り換えができます。	57、60、66
撮影モードに切り換える	📷 / シャッターボタン	📷ボタンまたはシャッターボタンを押すと、直前の撮影モードになります。	26

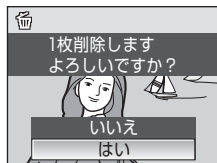
▶ボタンによる電源ON

電源がOFFの状態で▶ボタンを押し続けると、再生モードで電源をONにできます。このとき、レンズは繰り出しません。

画像の再生について

- 内蔵メモリーに記録した画像を再生するときは、SD カードをカメラから取り出してください。
- 顔認識して撮影した画像は、1コマ表示で再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます。
- 節電による待機状態で液晶モニターが消灯しているときは、▶ボタンまたは電源スイッチを押すと、液晶モニターが点灯します（📖122）。

撮影モードで画像を削除する

撮影時に🗑ボタンを押すと、直前に撮影した画像を削除できます。

複数の画像をまとめて削除する

再生メニュー（📖105）や撮影日一覧メニュー（📖59）、オート分類再生メニュー（📖62）、お気に入り再生メニュー（📖68）の［**削除**］（📖108）を選ぶと、複数の画像をまとめて削除できます。

フラッシュを使う

フラッシュの発光モードを撮影状況に合わせて設定できます。フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約0.6～4.6 m、望遠側で約0.6～2.5 mです（ISO感度設定がオート時）。

AUTO	**自動発光**
	暗い場所などで、自動的にフラッシュを発光します。
	赤目軽減自動発光
	人物撮影に適しており、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減できます（29）。
	発光禁止
	フラッシュは発光しません。
	強制発光
	被写体の明るさに関係なく、フラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
	スローシンクロ
	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景をきれいに写します。

フラッシュモードの設定方法

1 （フラッシュモード）を押す

- 液晶モニターにフラッシュモードの設定メニューが表示されます。

2 マルチセレクターでモードを選び、OK ボタンを押す

- 設定したフラッシュモードが表示されます。
- AUTO（自動発光）にするとモニター表示設定（118）にかかわらず、AUTOは数秒間で消えます。
- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

⚠ Ⓧ（発光禁止）にして撮影するときや、暗い場所で撮影するときの注意

- 手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
- 液晶モニターに ISO と表示されることがあります。ISO と表示されたときは、ISO感度が上がっているため、通常よりもざらついた画像になることがあります。

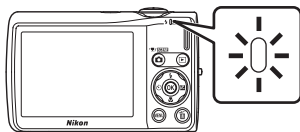
⚠ フラッシュ使用時のご注意

フラッシュを使用して撮影すると、フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して、画像の中に白い点のように写り込んでしまうことがあります。このようなときは、フラッシュモードをⓍ（発光禁止）にして撮影することをおすすめします。

フラッシュランプについて

シャッターボタン半押し時に、フラッシュの状態を確認できます。

- 点灯：撮影時にフラッシュが発光します。
- 点滅：フラッシュが充電中のため、撮影できません。
- 消灯：撮影時にフラッシュは発光しません。

バッテリー残量が少なくなると、フラッシュの充電中は液晶モニターが消灯します。

フラッシュモードの設定について

フラッシュモードの初期設定は、撮影モードによって異なります。

- （オート撮影）：AUTO 自動発光。
- SCENE（シーン）：シーンによって異なります（□34）。
- （笑顔撮影）：Ⓧ 発光禁止に固定（目つぶり軽減 ON時）、AUTO 自動発光（目つぶり軽減 OFF時）（□46）。

（オート撮影）モードの場合、変更したフラッシュモード設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

赤目軽減自動発光について

このカメラは、「**アドバンスト赤目軽減方式**」を採用しています。
フラッシュが本発光する前に、少量発光を数回行い、赤目現象の発生を軽減します。
さらに、カメラが撮影した画像を記録する前に赤目現象を検出したときは、赤目部分に補正を加えてから記録します。
撮影する際には、以下の点にご注意ください。

- シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。そのため、シャッターチャンスを優先する撮影にはおすすめできません。
- 次の撮影ができるまでの時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

セルフタイマーを使う

記念撮影など自分も一緒に写りたいときや、シャッターボタンを押す操作による手ブレを軽減したいときは、セルフタイマーが便利です。タイマー時間は10秒と2秒の2種類から選べます。セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。

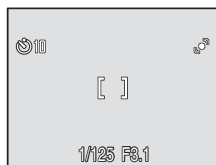
1 ◎（セルフタイマー）を押す

- 液晶モニターにセルフタイマーの設定メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで［**10s**］または［**2s**］を選び、⊛ボタンを押す

- ［**10s**］（10秒）：記念撮影などに適しています。
- ［**2s**］（2秒）：手ブレの軽減に適しています。
- 設定したセルフタイマーモードが表示されます。
- ⊛ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

4 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動し、シャッターがきれるまでの秒数が液晶モニターに表示されます。作動中はセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは［**OFF**］になります。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

簡単な撮影と再生―オート撮影モードを使う

マクロ（接写）モードを使う

最短約10 cmまで被写体に近づいて撮影できます。ただし、フラッシュ撮影時は、撮影距離が60 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがありますのでご注意ください。

1 🌷（マクロモード）を押す

- 液晶モニターにマクロモードの設定メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで［ON］を選び、ⓚボタンを押す

- 🌷マークが表示されます。
- ⓚボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

3 ズームレバーを操作して構図を決める

- 🌷マークが緑色で表示されるズーム位置（△マークより広角側）では、レンズ前約10 cmまでの被写体にピントを合わせられます。

マクロモードについて

マクロモードでは、カメラが自動的にAF（オートフォーカス）によるピント合わせを繰り返しますが、シャッターボタンを半押しするとピントを固定して、露出が決まります。

マクロモードの設定について

📷（オート撮影）モードの場合、マクロモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

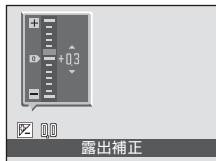
露出を補正する

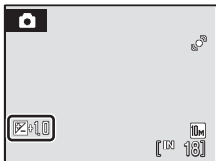
画像全体を明るくしたいときや暗くしたいときなどに使います。

1 （露出補正）を押す

・液晶モニターに露出補正のガイドが表示されます。

2 マルチセレクターで補正値を選び、OK ボタンを押す

・被写体が暗すぎるとき：補正値を＋側に設定してください。
・被写体が明るすぎるとき：補正値を－側に設定してください。
・－2.0 EVから＋2.0 EVの範囲で補正できます。
・OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

3 設定が有効になる

・マークと補正値が表示されます。

露出補正の設定について

（オート撮影）モードの場合、露出補正の設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

露出補正について

・構図の大部分が非常に明るいとき（太陽が反射する水や砂、雪を撮影するときなど）、背景が被写体より明るすぎるときは、カメラが自動的に被写体を暗くする傾向があります。被写体が暗すぎるときは、露出補正値を「＋」側に設定してください。
・構図の大部分が非常に暗いとき（暗い緑の森を撮影するときなど）、背景が被写体よりも暗すぎるときは、カメラが自動的に被写体を明るくする傾向があります。被写体が明るすぎるときは、露出補正値を「－」側に設定してください。

シーンモード

以下の撮影シーンを選ぶだけの簡単な操作で、そのシーンに合った撮影ができます。

おまかせシーン	ポートレート	風景	スポーツ	夜景ポートレート
パーティー	海・雪	夕焼け	トワイライト	夜景
クローズアップ	料理	ミュージアム	打ち上げ花火	モノクロコピー
逆光	パノラマアシスト	音声レコード※		

※「音声レコード機能を使う」(□74)をご覧ください。

シーンモードの設定方法

1 撮影時に ◘ ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、マルチセレクターの▲▼でシーンアイコンを選ぶ

- シーンアイコンは前回設定したアイコンが表示されます。初期設定は、SCENE(おまかせシーン)です。

2 ▶を押し、▲▼◀▶でシーンを選び、Ⓚボタンを押す

3 構図を決めて撮影する

画像モードの設定

シーンモードのときに MENU ボタンを押すと[**画像モード**](□93)を設定できます。画像モードの設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります(動画メニューを除く)。

シーンモードの種類と特徴

おまかせシーン

構図を決めるだけで、カメラが撮影シーンを自動的に判別します。
詳しくは「カメラまかせでシーンに合わせて撮影する（おまかせシーン）」（□40）をご覧ください。

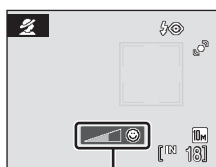
フラッシュ	AUTO※1	セルフタイマー	OFF※2	マクロ	OFF※3	露出補正	0.0※2

※1 自動判別されたシーンに合わせてカメラがフラッシュモードを設定します。発光禁止に変更できます。
※2 変更できます。
※3 クローズアップに判別されるとONに切り換わります。

ポートレート

笑顔ゲージ

人物を美しく撮影したいときに使います。人物の肌をなめらかで自然な感じに仕上げます。

- カメラが人物の顔（正面）を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→ □102）。
- 被写体の笑顔を検出すると、笑顔ゲージが増減します。
- 複数の顔を認識したときは、最もカメラに近い顔にピントが合います。
- 顔を認識しないときは、画面中央でピントが合います。
- 電子ズームは使えません。

フラッシュ	赤目軽減※	セルフタイマー	OFF※	マクロ	OFF	露出補正	0.0※

※ 変更できます。

三脚マーク：三脚マークがついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。
NR：NRがついたシーンモードでは、自動的にノイズ低減を行うため、画像の記録時間が通常より長くなります。

説明で使われているマークについて

フラッシュマークはフラッシュモード（□28）、セルフタイマーマークはセルフタイマー（□30）、マクロマークはマクロモード（□31）、露出補正マークは露出補正（□32）の設定です。

風景

自然の風景や街並みなどを、色鮮やかに撮影したいときに使います。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常にAFエリアまたはAF表示（□6）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

			OFF※		OFF		0.0※

※ 変更できます。

スポーツ

運動会などスポーツ写真を撮影するときに使います。動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。

- シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、ピント合わせを繰り返します。
- シャッターボタンを全押ししている間、約1.2コマ / 秒で最大6コマまで連写できます（画像モードが 標準（3648）のとき）。
- 画像モードやSDカードの種類により、最大連写速度が遅くなることがあります。
- モーション検知（□120）は作動しません。

			OFF		OFF		0.0※

※ 変更できます。

夜景ポートレート NR

夕景や夜景をバックに人物を撮影するときに使います。人物と背景の両方を美しく表現します。

- カメラが人物の顔（正面）を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→ □102）。
- 複数の顔を認識したときは、最もカメラに近い顔にピントが合います。
- 顔を認識しないときは、画面中央でピントが合います。
- 電子ズームは使えません。
- モーション検知（□120）は作動しません。

	※1		OFF※2		OFF		0.0※2

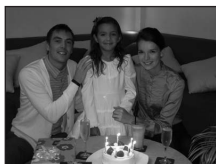
※1 赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。

※2 変更できます。

🎉 パーティー

パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景を活かして、雰囲気のある画像に仕上げます。

- 画面中央でピントを合わせます。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。暗い場所では、三脚などの使用をおすすめします。

フラッシュ	赤目軽減※1	セルフタイマー	OFF※2	マクロ	OFF	露出補正	0.0※2

※1 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。変更できます。
※2 変更できます。

海・雪

晴天の海や砂浜、雪景色などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。

- 画面中央でピントを合わせます。

フラッシュ	AUTO※	セルフタイマー	OFF※	マクロ	OFF	露出補正	0.0※

※ 変更できます。

夕焼け（三脚）

赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。

- 画面中央でピントを合わせます。

フラッシュ	発光禁止※	セルフタイマー	OFF※	マクロ	OFF	露出補正	0.0※

※ 変更できます。

（三脚）： （三脚）がついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。
NR： NR がついたシーンモードでは、自動的にノイズ低減を行うため、画像の記録時間が通常より長くなります。

トワイライト

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常にAFエリアまたはAF表示（6）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- モーション検知（120）は作動しません。

			OFF※		OFF		0.0※

※ 変更できます。

夜景

夜景の撮影に使います。スローシャッターで夜景の雰囲気を表現します。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常にAFエリアまたはAF表示（6）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- モーション検知（120）は作動しません。

			OFF※		OFF		0.0※

※ 変更できます。

クローズアップ

草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。

- マクロモード（31）がONになりズーム位置が自動的に最短撮影可能な位置に移動します。
- マークが緑色で表示されるズーム位置（マークより広角側）では、レンズ前約10 cmまでの被写体にピントを合わせられます。ズーム位置により最短撮影距離は変わります。
- ［**AFエリア選択**］は［**マニュアル**］になり、ボタンを押すとピント合わせを行うAFエリアを選べます（100）。
- シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、ピント合わせを繰り返します。

	AUTO※		OFF※		ON		0.0※

※ 変更できます。フラッシュ撮影時は、撮影距離が60 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがありますのでご注意ください。

料理

料理をきれいに撮影したいときに使います。詳しくは「料理モードを使った撮影方法」（□41）をご覧ください。
- ［**AF エリア選択**］は［**マニュアル**］になり、OK ボタンを押すとピント合わせを行う AF エリアを選べます（□100）。

⚡	⊛	⏲	OFF※	🌷	ON	☒	0.0※

※ 変更できます。

ミュージアム

フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で撮影するときに使います。
- 画面中央でピントを合わせます。
- BSS（ベストショットセレクター）（□97）を使って撮影できます。
- モーション検知（□120）は作動しません。

⚡	⊛	⏲	OFF※	🌷	OFF※	☒	0.0※

※ 変更できます。

打ち上げ花火 [三脚]

スローシャッターで、打ち上げ花火をきれいに撮影できます。
- 遠景にピントが固定されます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（□6）が緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- モーション検知（□120）は作動しません。

⚡	⊛	⏲	OFF	🌷	OFF	☒	0.0

[三脚]： [三脚]がついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。

モノクロコピー

ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。

- 画面中央でピントを合わせます。
- 近くのものを撮影するときは、マクロモード（□31）を併用してください。
- 赤色、青色などの被写体を撮影すると、文字などが薄くなることがあります。

⚡	⚡OFF※	⏲	OFF※	🌷	OFF※	±	0.0※

※ 変更できます。

逆光

逆光状態での撮影に使います。内蔵フラッシュが常に発光し、人物が影にならずに美しく撮影できます。

- 画面中央でピントを合わせます。
- モーション検知（□120）は作動しません。

⚡	⚡	⏲	OFF※	🌷	OFF	±	0.0※

※ 変更できます。

パノラマアシスト

撮影した複数の画像をつなげて、パノラマ写真に合成したいときに使います。撮影した画像は、付属のソフトウェア「Panorama Maker」を使ってパソコンでパノラマ写真に合成します。詳しくは「パノラマアシストを使った撮影方法」（□43）をご覧ください。

⚡	⚡OFF※	⏲	OFF※	🌷	OFF※	±	0.0※

※ 変更できます。

カメラまかせでシーンに合わせて撮影する（おまかせシーン）

構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別するので、より簡単にシーンに合った撮影ができます。「おまかせシーン」にして、カメラを被写体に向けると、以下のいずれかの撮影モードに自動的に切り換わります。

- オート撮影（20）
- ポートレート（34）
- 風景（35）
- 夜景ポートレート（35）
- 夜景（37）
- クローズアップ（37）
- 逆光（39）

1 撮影時に ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、マルチセレクターで［おまかせシーン］を選ぶ（33）

- おまかせシーンになります。

2 構図を決めて撮影する

- カメラがシーンを自動判別すると、撮影モードアイコンが切り換わります。
  - ：オート撮影
  - ：ポートレート
  - ：風景
  - ：夜景ポートレート
  - ：夜景
  - ：クローズアップ
  - ：逆光

- シャッターボタンを半押しするとピントと露出が合います。
- シャッターボタンを全押しするとシャッターがきれます。

おまかせシーンのご注意

撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、オート撮影モード（20）に切り換えるか、目的にあったシーンモード（33）を選んで撮影してください。

おまかせシーンのフラッシュモード設定

フラッシュモード（28）は、AUTO（自動発光）（初期設定）または（発光禁止）を選べます。

- AUTO（自動発光）にすると、自動判別したシーンに合わせて、カメラが自動的にフラッシュモードを設定します。
- （発光禁止）にすると、撮影状況にかかわらず、フラッシュは発光しません。

おまかせシーンで制限される機能

- 電子ズームは使えません。
- マルチセレクターのマクロモードボタン（9、31）は使えません。
- （クローズアップ）では、［**AFエリア選択**］（100）が［**オート**］になります。

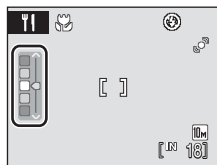
料理モードを使った撮影方法

料理をきれいに撮影したいときに使います。

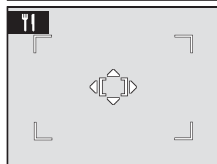
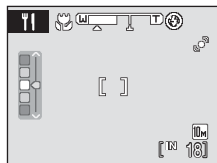
1 撮影時に ◘ ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、マルチセレクターで🍴［料理］を選ぶ（📖33）

- マクロモード（📖31）がONになり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。

2 マルチセレクターの ▲▼ でホワイトバランスを選ぶ

- ▲を押すと赤味、▼を押すと青味が増します。

3 構図を決める

- 🌷 マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置（△マークより広角側）では、レンズ前約10 cm までの被写体にピントを合わせられます。ズーム位置により最短撮影距離は変わります。

- ［**AFエリア選択**］は［**マニュアル**］になります（📖100）。
  ⓚボタンを押すとAFエリアを移動できます。マルチセレクターの▲▼◀▶を押して、ピントを合わせたい位置にAFエリアを動かします。もう一度ⓚボタンを押すと、AFエリアを固定します。
- AFエリアを固定した状態で、セルフタイマー（📖30）と露出補正（📖32）を設定できます。

4 シャッターボタンを押して撮影する

- シャッターボタンを半押しするとピントが固定され、全押しするとシャッターがきれます。
- AFエリアが点滅したときは、ピントが合っていません。構図を変えて、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。

料理モードについてのご注意

フラッシュは使えません。マクロモード（31）は［**ON**］に固定されます。

料理モードのホワイトバランスについて

- 赤味や青味を増すことで、照明による影響を軽減できます。
- 料理モードのホワイトバランスを変更しても、撮影メニューの［**ホワイトバランス**］（95）は変わりません。
- 料理モードのホワイトバランス設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

パノラマアシストを使った撮影方法

画面中央でピントを合わせます。三脚を使うと、構図を合わせやすくなります。

1 撮影時に ◘ ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、マルチセレクターで ⌶［パノラマアシスト］を選ぶ（□33）

- パノラマ方向（画像をつなげる方向）を示す ▷ マークが表示されます。

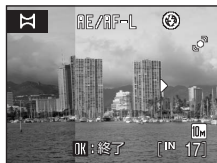
2 マルチセレクターでパノラマ方向を選び、Ⓚ ボタンを押す

- 右方向につなげるときは ▷、左方向は ◁、上方向は △、下方向は ▽ を選びます。
- 選んだ方向に黄色い ▷▷ マークが移動し、Ⓚ ボタンを押すと方向を決定します。決定した方向の ▷（白色）が表示されます。
- フラッシュモード（□28）、セルフタイマー（□30）、マクロモード（□31）、露出補正（□32）を設定したいときは、ここで設定してください。
- もう一度 Ⓚ ボタンを押すと、パノラマ方向を選び直せます。

3 一番端の被写体に構図を合わせ、1コマ目を撮影する

- 撮影した画像が、画面の約 1/3 の部分に半透明で表示されます。

4 2コマ目以降を撮影する

- 次の被写体の 1/3 が前の絵柄に重なるように構図を合わせて、シャッターボタンを押してください。
- この手順を繰り返して、必要な画像を撮影してください。

5 必要な画像を撮影し終わったら、Ⓚボタンを押す

- 手順2の状態に戻ります。

パノラマアシストについてのご注意

- フラッシュモード、セルフタイマー、マクロモード、露出補正は、撮影開始前に設定してください。撮影開始後に設定の変更はできません。撮影開始後は、画像モード（□93）の変更やズーム操作、画像の削除もできません。
- 撮影中にオートパワーオフ（□122）による待機状態になると撮影が終了します。オートパワーオフの時間を長めに設定しておくことをおすすめします。

AE/AF-L表示について

パノラマアシストモードでは、1コマ目を撮影すると、画面にAE/AF-Lと表示されます。これは、露出、ホワイトバランスとピントがロック（固定）されたことを示しています。これによってパノラマ写真を構成するすべての画像を、同じ露出とホワイトバランス、ピントで撮影できます。

Panorama Makerについて

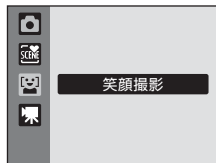
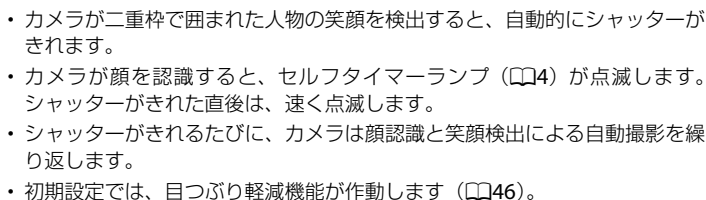
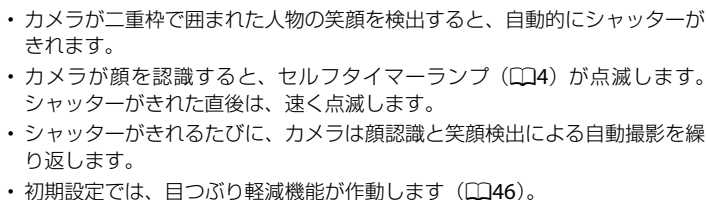
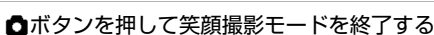
Panorama Makerは、付属のSoftware Suite CD-ROMを使ってパソコンにインストールできます。
撮影した画像をパソコンに転送して（□80）、Panorama Makerでパノラマ写真に合成してください（□83）。

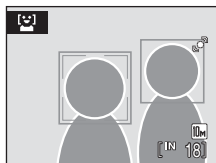
関連ページ

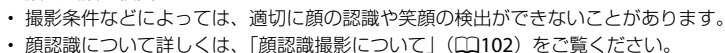
記録データのファイル名とフォルダー名→□130

笑顔撮影モードを使う

顔認識した人物の笑顔を検出して、カメラが自動でシャッターをきります。

1 撮影時に◘ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、マルチセレクターの▲▼で☺を選び、OKボタンを押す

2 構図を決める

- カメラを被写体に向けます。
- カメラが人物の顔（正面）を認識すると、顔が黄色い二重枠のAFエリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が一瞬緑色になりピントが固定されます。
- 最大3人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、最も画面の中央に近い顔が二重枠のAFエリア表示で囲まれ、他の顔が一重枠で囲まれます。

3 自動的にシャッターがきれる

- カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- カメラが顔を認識すると、セルフタイマーランプ（□4）が点滅します。シャッターがきれた直後は、速く点滅します。
- シャッターがきれるたびに、カメラは顔認識と笑顔検出による自動撮影を繰り返します。
- 初期設定では、目つぶり軽減機能が作動します（□46）。

4 ◘ボタンを押して笑顔撮影モードを終了する

- 他の撮影モードに切り換えてください。

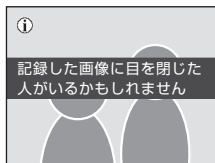
顔認識と笑顔検出について

笑顔撮影モードでは、人物の顔（正面）にカメラを向けると自動的に顔を認識し、認識した顔の笑顔を検出します。

- 撮影条件などによっては、適切に顔の認識や笑顔の検出ができないことがあります。
- 顔認識について詳しくは、「顔認識撮影について」（□102）をご覧ください。

目つぶり軽減機能について

笑顔撮影モードでは、目つぶり軽減機能を使えます。
撮影するたびに自動的に2コマ連写し、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。

- 記録した画像に目つぶりの可能性があることを検出したときは、右のメッセージが数秒間表示されます。
- 目つぶり軽減機能の ON/OFF の切り換えは、笑顔撮影モードのときにMENUボタンを押して笑顔撮影メニューを表示し、［**目つぶり軽減**］を選んで設定します。
- 目つぶり軽減の設定は、撮影時の画面で確認できます（□6）。

シャッターボタンの操作について

シャッターボタンを押して撮影できます。

- 顔認識しているときは、顔認識時に固定されたピントのままシャッターがきれます。
- 顔認識していないときは、画面中央の被写体にピントが合います。

笑顔撮影モードで使用可能な機能について

- フラッシュは、［**目つぶり軽減**］が［**ON**］のときは使えません。［**目つぶり軽減**］が［**OFF**］のときは、フラッシュモード（□28）が自動発光になります（変更できます）。
- 露出補正（□32）の設定ができます。
- 電子ズームは使えません。
- MENU ボタンを押して笑顔撮影メニューを表示すると、［**画像モード**］（□93）を設定できます。画像モードの設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります（動画メニューを除く）。

笑顔撮影モードの節電機能について

笑顔撮影モードで、カメラを操作しないまま以下の状態が続くと、オートパワーオフ（□122）が作動して、電源がOFFになります。

- カメラが顔を認識しない。
- カメラが顔を認識していても、笑顔を検出できない。

関連ページ

オートフォーカスが苦手な被写体→□25

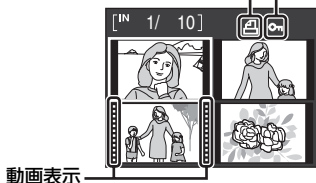
複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示）

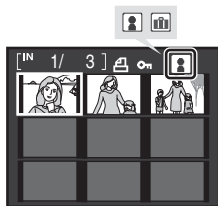
再生モードの1コマ表示（📖26）でズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。サムネイル表示では、以下の操作ができます。

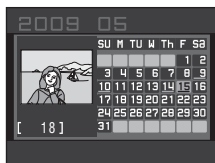
機能	ボタン	内容	📖
画像を選ぶ	（マルチセレクター）	マルチセレクターの▲▼◀▶を押します。	9
表示コマ数を増やす/カレンダーを表示する	**W** （▦）	ズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、4コマ → 9コマ → 16コマ→ カレンダー表示に切り換わります。 「カレンダー表示」にすると、撮影日単位で画像の選択を移動できます（📖48）。**T**（🔍）方向に回すと、サムネイル表示に戻ります。	–
表示コマ数を減らす	**T** （🔍）	ズームレバーを**T**（🔍）方向に回すと、16コマ → 9コマ → 4コマに切り換わります。 4コマ表示でズームレバーを**T**（🔍）方向に回すと1コマ表示に戻ります。	
1コマ表示に戻る	Ⓚ	Ⓚボタンを押します。	26
撮影モードに切り換える	📷 （シャッターボタン）	📷ボタンまたはシャッターボタンを押すと、直前の撮影モードになります。	26

サムネイルに表示されるマーク

［**プリント指定**］（📖90）や［**プロテクト設定**］（📖108）をした画像の選択中は右のマークが表示されます。動画は、映画フィルムの1コマのように表示されます。

プロテクト設定表示
プリント指定表示
動画表示

オート分類再生中およびお気に入り再生中のサムネイル表示

- オート分類再生（📖60）でサムネイル表示をすると、再生している分類のアイコンが画面右上に表示されます。
- お気に入り再生（📖63）でサムネイル表示をすると、再生しているお気に入りフォルダーのアイコンが画面右上に表示されます。

カレンダー表示

再生モードのサムネイル表示を16コマ表示にした後（📖47）、さらにズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、カレンダー表示になります。
撮影日単位で画像の選択を移動できます。撮影画像のある日付には、黄色の下線が表示されます。
カレンダー表示では、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容	📖
日付を選ぶ	(マルチセレクター)	マルチセレクターの▲▼◀▶を押します。	9
1コマ表示に戻る	Ⓚ	選んだ日に最初に撮影した画像の1 コマ表示に移動します。	26
サムネイル表示に戻る	**T** （Q）	ズームレバーを**T**（Q）方向に回します。	47

カレンダー表示についてのご注意

- 日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で2009年1月1日の画像として扱われます。
- カレンダー表示中は、🗑ボタンおよびMENUボタンは使えません。

撮影日一覧モードについて

「撮影日一覧モード」（📖57）を使うと、同じ日付の画像だけを再生できます。また、選んだ日付の画像だけを対象に再生メニュー（📖59）の操作ができます。

画像を拡大表示する

再生モードの1コマ表示（□26）でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、表示中の画像の中央部が拡大表示されます。

- 画面右下のガイドは、どの部分を表示しているかを示しています。

拡大表示では、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容	□
拡大倍率を上げる	**T**（Q）	ズームレバーを**T**（Q）方向に回します。約10倍まで拡大できます。	–
拡大倍率を下げる	**W**（▦）	ズームレバーを**W**（▦）方向に回します。倍率が1倍になると、1コマ表示に戻ります。	–
表示範囲を移動する	マルチセレクター	マルチセレクターの▲▼◀▶を押して、表示範囲を移動します。	9
1コマ表示に戻る	Ⓚ	Ⓚボタンを押します。	26
画像の一部を切り抜く（トリミング）	MENU	拡大表示した部分だけを別画像として保存します。	53
撮影モードに切り換える	◘ / シャッターボタン	◘ボタンまたはシャッターボタンを押すと、直前の撮影モードになります。	26

顔認識して撮影した画像の場合

顔認識（□102）して撮影した画像は、再生モードの1コマ表示でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示されます。

- 複数の顔を認識していたときは、ピント合わせを行った顔を中心に拡大表示され、マルチセレクターの▲▼◀▶を押すと表示する顔が切り換わります。
- さらに**T**（Q）方向または**W**（▦）方向に回すと拡大率が変わり、通常の拡大表示になります。

画像を編集する

このカメラでは以下の機能を使って画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別の画像として、異なるファイル名で保存されます（□130）。

編集の種類	内容
簡単レタッチ（□51）	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。
D-ライティング（□52）	逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正します。
トリミング（□53）	画像の一部を切り抜きます。被写体をクローズアップしたいときや構図に手を加えたいときなどに使います。
スモールピクチャー（□54）	小さいサイズの画像を作成します。メールに添付して送信するときなどに使います。

画像編集を適用する際のご注意

- ［**画像モード**］（□93）を［**16:9（3584）**］にして撮影した画像は、編集できません。
- COOLPIX S220以外で撮影した画像は、COOLPIX S220で編集できません。
- COOLPIX S220以外のデジタルカメラでは、COOLPIX S220で編集した画像の正常な表示やパソコンへの転送ができないことがあります。
- 内蔵メモリー /SDカードに充分な空き容量がないときは、編集できません。

画像編集の制限

	2回目の編集			
1回目の編集	**簡単レタッチ**	D-ライティング	**トリミング**	**スモールピクチャー**
簡単レタッチ	×	×	○	○
D-ライティング	×	×	○	○
トリミング	×	×	×	×
スモールピクチャー	×	×	×	×

- 同じ画像編集を2回行うことはできません。
- 簡単レタッチまたは D- ライティングと、トリミングまたはスモールピクチャーを組み合わせて編集するときは、簡単レタッチまたはD-ライティングを先に行ってください。

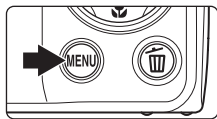
元画像と編集画像の関係について

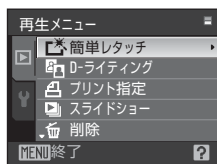
- 編集で作成した画像は、元画像を削除しても削除されません。また編集で作成した画像を削除しても、元画像は削除されません。
- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。
- ［**プリント指定**］（□90）や［**プロテクト設定**］（□108）された画像を編集しても、これらの設定内容は編集で作成した画像に反映されません。

簡単にレタッチする

コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を、簡単に作成できます。簡単レタッチで作成した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

1 再生モードの1コマ表示（□26）またはサムネイル表示（□47）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで[簡単レタッチ]を選び、OKボタンを押す

- 補正前（左側）と補正後（右側）の見本が表示されます。

3 ▲▼で効果の度合いを選び、OKボタンを押す

- 補正画像が作成されます（作成が完了するまでに時間がかかることがあります）。
- 簡単レタッチを中止するときは、MENUボタンを押します。
- 簡単レタッチで作成した画像は、再生画面でが表示されます。

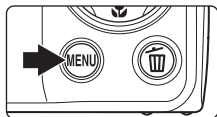
関連ページ

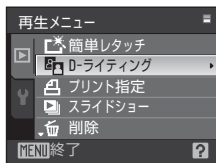
記録データのファイル名とフォルダー名→□130

画像の暗い部分を明るく補正する（D-ライティング）

逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正できます。D-ライティングで補正した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

1 再生モードの1コマ表示（□26）またはサムネイル表示（□47）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで[D-ライティング]を選び、Ⓚボタンを押す

- 補正前（左側）と補正後（右側）の見本が表示されます。

3 ［実行］を選び、Ⓚボタンを押す

- 補正画像が作成されます。
- D-ライティングを中止するときは、[**キャンセル**]を選び、Ⓚボタンを押します。

- D-ライティングを行った画像は、再生画面でが表示されます。

関連ページ

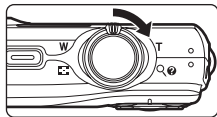
記録データのファイル名とフォルダー名→□130

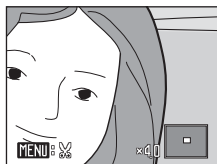
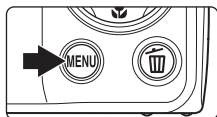
画像の一部を切り抜く（トリミング）

拡大表示（□49）中にMENU:✂マークが表示されている画像は、液晶モニターに表示している部分だけにトリミング（切り抜き）できます。トリミングした画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

1 再生モードの1コマ表示でズームレバーを**T**（Q）方向に回して、画像を拡大表示する

- 縦位置画像は、左右の黒い帯が見えなくなるまで画像を拡大するとトリミングできますが、トリミング画像は横位置になります。縦位置のトリミン

グ画像を作るには［**画像回転**］（□109）で横位置にしてからトリミングし、再度トリミング画像を縦位置に戻します。

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節する

- ズームレバーを**T**（Q）方向または**W**（▦）方向に回して拡大率を調節します。
- マルチセレクターの ▲▼◀▶ を押して表示範囲を移動します。

3 MENUボタンを押す

4 マルチセレクターで［はい］を選び、OKボタンを押す

- トリミング画像が作成されます。
- 作成をやめるときは、［**いいえ**］を選びます。

画像サイズについて

切り抜く範囲が狭くなるほど、トリミングで作成した画像の画像サイズ（ピクセル数）は小さくなります。
トリミングした画像サイズが320×240または160×120のときは、再生時の画面左側にスモールピクチャーの▢または▢アイコンが表示されます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□130

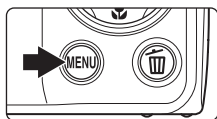
再生機能を使いこなす

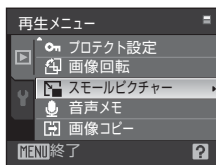
小さいサイズの画像を作成する（スモールピクチャー）

撮影した画像から、小さいサイズの画像を新しく作ります。作成するスモールピクチャーの大きさは、以下の3種類から選べます。スモールピクチャーは、元の画像とは別の画像（圧縮率約1/16）として保存されます。

種類	内容
640×480	テレビでの表示に適しています。
320×240	ホームページでの使用に適しています。
160×120	電子メールへの添付に適しています。

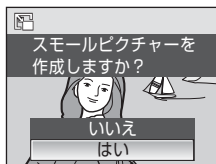
1 再生モードの1コマ表示（□26）またはサムネイル表示（□47）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで [スモールピクチャー] を選び、OKボタンを押す

- 作成をやめて再生モードに戻るときは、MENUボタンを押します。

3 スモールピクチャーのサイズを選び、OKボタンを押す

4 ［はい］を選び、OKボタンを押す

- スモールピクチャーが作成されます。
- 作成をやめるときは、［**いいえ**］を選び、OKボタンを押します。
- スモールピクチャーで作成した画像は、グレーの枠で囲まれて表示されます。

スモールピクチャーを
作成しますか？
いいえ
はい

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□130

画像に音声メモを付ける

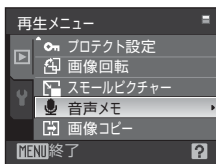
撮影した画像に、カメラのマイクを使って音声によるメモが付けられます。

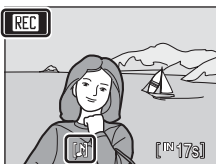
音声メモを録音する

1 再生モードの1コマ表示（□26）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで🎤[音声メモ]を選び、OKボタンを押す

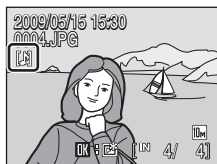
- 音声メモの録音画面になります。

3 OKボタンを押して音声メモを録音する

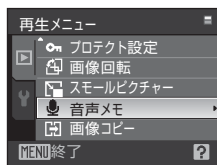
- OK ボタンを押している間、約 20 秒まで音声メモを録音できます。
- 録音中はカメラのマイクに触れないようご注意ください。
- 録音中は REC と ♪が点滅します。
- 録音が終了すると、音声メモ再生画面になります。「音声メモを再生する」（□56）の手順3にしたがって再生できます。
- 録音前または録音終了後に MENU ボタンを押すと、再生モードの1コマ表示に戻ります。

記録データのファイル名とフォルダー名→□130

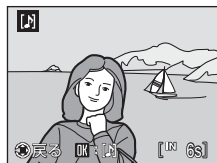
音声メモを再生する

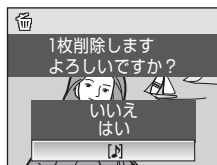
音声メモを録音した画像には、再生モードの1コマ表示で[♪]が表示されます。

1 再生モードの1コマ表示（□26）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで🎙[音声メモ]を選び、OKボタンを押す

- 音声メモの再生画面になります。

3 OKボタンを押して音声メモを再生する

- 再生を途中で止めるには、OKボタンを押します。
- 再生中は、ズームレバー **T**/**W** で音量を調節できます。
- 再生前または再生終了後に MENU ボタンを押すと、再生モードの1コマ表示に戻ります。

音声メモを削除する

音声メモ付き画像を選んで🗑ボタンを押します。マルチセレクターで［[♪]］を選んでOKボタンを押すと、音声メモだけを削除します。

✔ 音声メモについてのご注意

- 音声メモが付いた画像を削除すると、その画像に付けた音声メモも削除されます。
- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。録音内容を変更するときは、いったん音声メモだけを削除してから、もう一度音声メモを録音してください。
- COOLPIX S220 以外で撮影した画像には、COOLPIX S220 で音声メモを付けられません。

特定の日付の画像を選ぶ（撮影日一覧モード）

「DATE 撮影日一覧モード」にすると、同じ撮影日の画像だけを再生できます。1コマ表示にすると、通常の再生モードと同様に、拡大表示、画像の編集、音声メモの録音/再生、動画再生またはお気に入りフォルダーへの登録ができます。MENUボタンを押して「撮影日一覧メニュー」（□59）を表示すると、同じ日付の画像をまとめて削除したり、プリント指定やプロテクトなどを一度に設定できます。

撮影日一覧モードで日付を選ぶ

1 再生時に▶ボタンを押して再生モードメニューを表示し、マルチセレクターの▲▼でDATEを選び、OKボタンを押す

- 撮影画像のある日付が撮影日として一覧表示されます。

2 日付を選び、OKボタンを押す

- 表示される撮影日は最大29日分までです。撮影日が30日以上あると、［**過去画像**］として30日以降の画像がすべてまとめられます。

- 選んだ日に最初に撮影した画像が、1コマ表示されます。
- OKボタンを押すと、表示した画像をお気に入りフォルダーに分類できます（□65）。
- 1コマ表示の状態でズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、撮影日の一覧画面に戻ります。

✔ 撮影日一覧モードについてのご注意

- 撮影日一覧モードで表示できる画像は、最新の画像から9,000 コマまでです。9,001コマ目を含む日付の画像枚数表示には、「＊」マークが表示されます。
- 日時を設定せずに撮影した画像は、2009年1月1日の画像として扱われます。

撮影日一覧モードの操作

撮影日の一覧画面では、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容	📖
日付を選ぶ		マルチセレクターの▲▼を押します。	9
1コマ表示する	Ⓚ	選んだ日付の画像を1コマ表示します。 1コマ表示から撮影日の一覧画面に戻るには、ズームレバーを**W**（▦）方向に回します。	26
画像を削除する	🗑	選んだ日付の画像を、すべて削除します。 表示される削除確認画面で［**はい**］を選びます。	26
撮影日一覧メニューを表示する	MENU	撮影日一覧メニューを表示します。	59
再生モードを切り換える	▶	再生モードメニューを表示します。	8
撮影モードに切り換える	📷 / シャッターボタン	📷ボタンまたはシャッターボタンを押すと、直前の撮影モードになります。	26

撮影日一覧メニュー

撮影日一覧モードでMENUボタンを押すと、選んだ日付の画像だけを対象とする以下のメニューが表示されます。

簡単レタッチ※	→📖51
D-ライティング※	→📖52
プリント指定	→📖90
スライドショー	→📖107
削除	→📖108
プロテクト設定	→📖108
画像回転※	→📖109
スモールピクチャー※	→📖54
音声メモ※	→📖55

※1コマ表示時のみ

撮影日の一覧画面（📖57）でMENUボタンを押すと、同じ日付の画像に同一の設定をまとめて行ったり、同じ日付の画像をまとめて削除できます。
画像ごとに設定を変更したり、削除する画像を選ぶときは、1コマ表示にしてからMENUボタンを押してください。

［プリント指定］についてのご注意

選んだ日付以外の画像がすでにプリント指定されていると、［**選択した日以外のプリント指定を残しますか？**］という確認画面が表示されます。
- ［**はい**］：前回の設定内容に今回の設定内容が追加されます。
- ［**いいえ**］：前回の設定は削除され、今回の設定だけが残ります。

オート分類再生で画像を探す

画像や動画は、撮影時に以下のいずれかの項目に自動的に分類されます。
「オート分類再生モード」にすると、撮影時に分類された項目を選んで画像や動画を表示できます。

笑顔	人物	料理
風景	夜景	接写
動画	編集済み画像	その他の画像

1コマ表示にすると、通常の再生モードと同様に、拡大表示、サムネイル表示、画像の編集、音声メモの録音/再生、動画再生またはお気に入りフォルダーへの登録ができます。MENUボタンを押して「オート分類再生メニュー」（62）を表示すると、同じ分類の画像をまとめて削除したり、プリント指定やプロテクトなどを一度に設定できます。

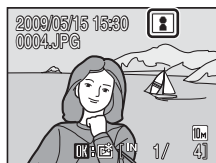
オート分類再生モードで画像を表示する

1 再生時にボタンを押して再生モードメニューを表示し、マルチセレクターの▲▼でを選び、ボタンを押す

- 分類項目の一覧画面が表示されます。分類項目についての詳細は、「分類の種類と内容」（61）をご覧ください。
- 撮影画像のある分類には、画像が表示されます。

2 項目を選び、ボタンを押す

- 選んだ項目の画像が1コマ表示されます。
- 再生中の項目のアイコンが画面右上に表示されます。
- ボタンを押すと、表示した画像をお気に入りフォルダーへ分類できます（65）。

再生機能を使いこなす

分類の種類と内容

項目	内容
笑顔	笑顔撮影モード（45）で撮影した画像を表示します。
人物	（オート撮影）モード（20）で顔認識（102）して撮影した画像、シーンモード（33）の［**ポートレート**］※、［**夜景ポートレート**］※、［**パーティー**］、［**逆光**］※で撮影した画像を表示します。
風景	シーンモード（33）の［**風景**］※で撮影した画像を表示します。
夜景	シーンモード（33）の［**夜景**］※、［**夕焼け**］、［**トワイライト**］、［**打ち上げ花火**］で撮影した画像を表示します。
接写	シーンモード（33）の［**クローズアップ**］※または、（オート撮影）モードのマクロ（31）で撮影した画像を表示します。
料理	料理モード（41）で撮影した画像を表示します。
動画	動画モード（70）で撮影した動画を表示します。
編集済み画像	簡単レタッチ（51）、D-ライティング（52）、トリミング（53）、スモールピクチャー（54）で作成した画像を表示します。
その他の画像	他の分類項目に該当しない画像を表示します。

※ おまかせシーン（40）で切り換わった場合も含みます。

オート分類再生モードについてのご注意

- 1つの分類項目で表示できるのは、各999コマまでです。撮影時にすでに999コマある分類項目に該当した画像/動画は、オート分類再生モードに登録できず、オート分類再生モードで表示できません。通常の再生モード（26）または撮影日一覧モード（57）で表示してください。
- 内蔵メモリーまたはSDカードからコピーした画像や動画（109）は、オート分類再生モードでは表示できません。
- COOLPIX S220以外で記録した画像や動画は、オート分類再生モードで表示できません。

オート分類再生モードの操作

オート分類再生の一覧画面では、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容	📖
項目を選ぶ	(マルチセレクター)	マルチセレクターの▲▼◀▶を押します。	9
1コマ表示する	OK	選んだ項目の画像を1コマ表示します。	26
画像を削除する	🗑	選んだ項目の画像を、すべて削除します。表示される削除確認画面で［**はい**］を選びます。	26
再生モードを切り換える	▶	再生モードメニューを表示します。	8
撮影モードに切り換える	📷 / (シャッターボタン)	📷ボタンまたはシャッターボタンを押すと、直前の撮影モードになります。	26

オート分類再生メニュー

オート分類再生モードの1コマ表示でMENUボタンを押すと、以下のメニューが表示されます。

簡単レタッチ →📖51
D-ライティング →📖52
プリント指定 →📖90
スライドショー →📖107
削除 →📖108
プロテクト設定 →📖108
画像回転 →📖109
スモールピクチャー →📖54
音声メモ →📖55

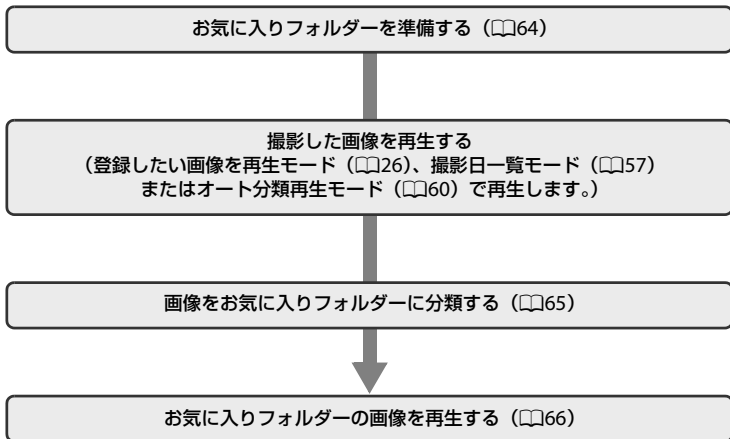
［プリント指定］についてのご注意

選んだ分類以外の画像がすでにプリント指定されていると、［**選択した画像以外のプリント指定を残しますか？**］という確認画面が表示されます。

- ［**はい**］：前回の設定内容に今回の設定内容が追加されます。
- ［**いいえ**］：前回の設定は削除され、今回の設定だけが残ります。

お気に入りの画像を分類する（お気に入り再生）

撮影した画像を旅行や結婚式などのイベントごとにお気に入りフォルダーへ登録して分類できます。フォルダーへ登録すると、見たいイベントだけを再生できます。また、1つの画像を複数のフォルダーに登録することもできます。

分類/再生の手順

お気に入りフォルダーを準備する

画像を分類するお気に入りフォルダーのデザイン（アイコン）を変更しておくと、フォルダーにどのような分類で画像を登録したか分かりやすくなります。画像をお気に入りフォルダーに登録した後でもアイコンを変更できます。

1 再生時に▶ボタンを押して再生モードメニューを表示し、マルチセレクターの▲▼で お気に入り再生 を選び、OKボタンを押す

- お気に入りフォルダーが一覧表示されます。

2 お気に入りフォルダーを選び、MENU ボタンを押す

- アイコン選択画面が表示されます。

3 マルチセレクターの◀▶でアイコンの色を選び、OKボタンを押す

4 マルチセレクターの▲▼◀▶でアイコンを選び、OKボタンを押す

- アイコンが変更され、手順2 のお気に入りフォルダーの一覧画面に戻ります。

✔ お気に入りフォルダーのアイコン設定についてのご注意

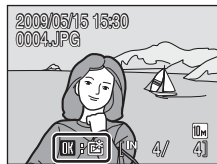
お気に入りフォルダーのアイコンは、内蔵メモリーまたはSDカードごとに設定してください。アイコン設定をしていない内蔵メモリーまたはSDカードでお気に入り再生をすると、アイコンは数字アイコン（初期設定）で表示されます。内蔵メモリーのお気に入りフォルダーアイコンを変更するときは、SDカードをカメラから取り出してください。

画像をお気に入りフォルダーに分類する

撮影した画像をお気に入りフォルダーに登録して分類できます。お気に入りフォルダーに登録しておくと、画像を探すときに見つけやすくなります。

1 再生モード（□26）、撮影日一覧モード（□57）またはオート分類再生モード（□60）で画像を再生する

2 お気に入りの画像を選び、Ⓚボタンを押す

- 1コマ表示にしてⓀボタンを押してください。
- お気に入り登録画面が表示されます。

3 マルチセレクターでお気に入りフォルダーを選び、Ⓚボタンを押す

- お気に入りフォルダーに画像が登録されます。

お気に入り登録についてのご注意

- 1つのお気に入りフォルダーに登録できる画像は、最大200コマまでです。
- 選んだ画像がすでにお気に入りフォルダーに登録されているときは、登録されているお気に入りフォルダーのチェックボックスがオン（✔）になります。
- 1つの画像を複数のお気に入りフォルダーに登録できます。
- 画像をお気に入りフォルダーに登録しても、画像データはコピーや移動されません（□69）。
- 動画はお気に入りフォルダーに登録できません。

関連ページ

お気に入りを解除する→□66

お気に入りフォルダーの画像を再生する

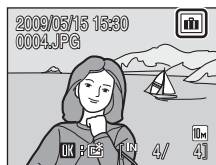
「お気に入り再生モード」にすると、画像を登録したお気に入りフォルダーを選んで画像を表示できます。1コマ表示にすると、通常の再生モードと同様に、拡大表示、サムネイル表示、画像の編集または音声メモの録音/再生ができます。

1 再生時に▶ボタンを押して再生モードメニューを表示し、マルチセレクターの▲▼でを選び、Ⓚボタンを押す

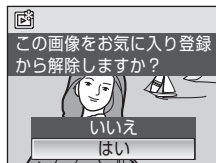
- お気に入りフォルダーが一覧表示されます。
  画像が登録されたお気に入りフォルダーは、フォルダー内の画像が表示されます。

2 お気に入りフォルダーを選び、Ⓚボタンを押す

- 選んだお気に入りフォルダーの画像が、1コマ表示されます。

- 再生しているお気に入りフォルダーのアイコンが画面右上に表示されます。

お気に入りを解除する

お気に入り再生モードの1コマ表示（上記の手順2）でⓀボタンを押すと、お気に入り解除確認画面が表示されます。

［**はい**］を選んでⓀボタンを押し、お気に入りを解除します。解除をやめるときは、［**いいえ**］を選びます。

✔ お気に入りの「解除」と「削除」の違いについて

お気に入り再生は、お気に入りフォルダーに登録した元の画像を再生します（□69）。お気に入り再生中に画像を削除すると、お気に入りフォルダーに登録した元の画像が削除されます。画像を削除しないでお気に入りフォルダーから解除するには、必ずお気に入りの解除を行ってください。

お気に入り再生モードの操作

お気に入りフォルダーの一覧画面では、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容	📖
お気に入りフォルダーを選ぶ	マルチセレクター	マルチセレクターの▲▼◀▶を押します。	9
1コマ表示する	OK	選んだお気に入りフォルダーの画像を1コマ表示します。	26
画像を削除する	削除	選んだお気に入りフォルダーの画像を、すべて削除します。表示される削除確認画面で［**はい**］を選びます。	26
お気に入りフォルダーのアイコンを変更する	MENU	お気に入りフォルダーのアイコンを変更します。	64
再生モードを切り換える	▶	再生モードメニューを表示します。	8
撮影モードに切り換える	撮影／シャッターボタン	撮影ボタンまたはシャッターボタンを押すと、直前の撮影モードになります。	26

お気に入り再生メニュー

お気に入り再生モードの1コマ表示でMENUボタンを押すと、以下のメニューが表示されます。

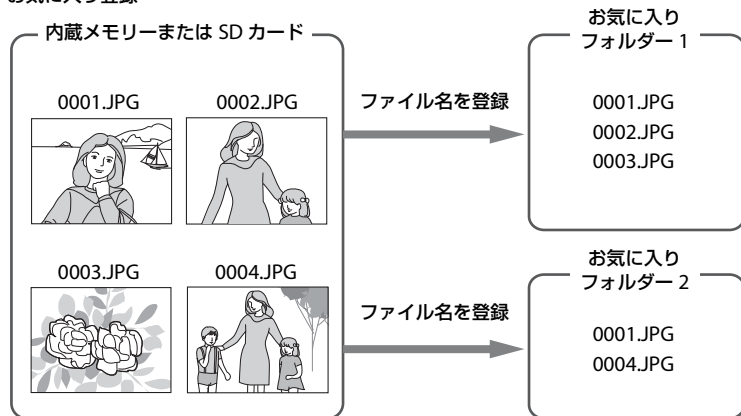
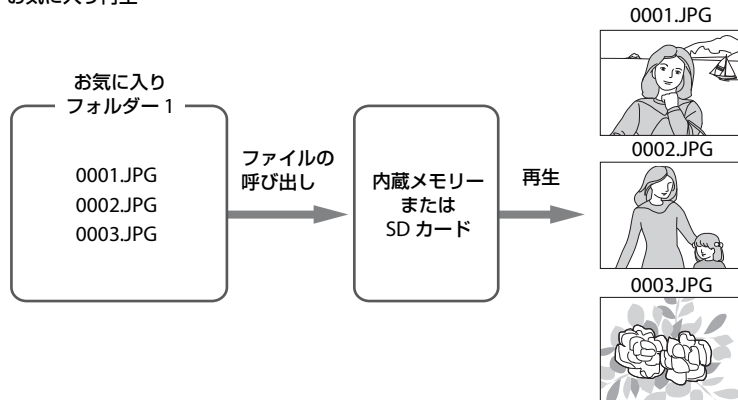
簡単レタッチ →📖51
D-ライティング →📖52
プリント指定 →📖90
スライドショー →📖107
削除 →📖108
プロテクト設定 →📖108
画像回転 →📖109
スモールピクチャー →📖54
音声メモ →📖55

☑［プリント指定］についてのご注意

選んだフォルダー以外の画像がすでにプリント指定されていると、［**選択した画像以外のプリント指定を残しますか？**］という確認画面が表示されます。

- ［**はい**］：前回の設定内容に今回の設定内容が追加されます。
- ［**いいえ**］：前回の設定は削除され、今回の設定だけが残ります。

お気に入りの登録/再生について

画像をお気に入りに登録しても、記録したフォルダー（□130）からお気に入りフォルダーに画像がコピーや移動されることはありません。お気に入りフォルダーには、画像のファイル名が登録されます。お気に入り再生は、お気に入りフォルダーに登録されているファイル名から画像を呼び出して再生します。
お気に入り再生中に画像を削除（□26、67、108）すると、お気に入りに登録した元の画像が削除されます。削除をする場合はご注意ください。

動画を撮影する

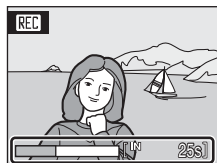
動画（音声付き）を撮影できます。

1 撮影時に ◘ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、マルチセレクターの▲▼で 🎥を選び、Ⓚボタンを押す

- 液晶モニターに、記録できる時間が表示されます。

2 シャッターボタンを全押しして、撮影を開始する

- ピントは画面中央にある被写体に合います。
- 液晶モニターで記録できる残り時間の目安を確認できます。

- 撮影を終了するには、もう一度シャッターボタンを全押しします。
- 内蔵メモリー/SDカードの残量がなくなったとき、または記録時間が25分に達すると、撮影が自動的に終了します。

✔ 動画撮影についてのご注意

- マクロモード（📖31）を使えます。フラッシュモード（📖28）やセルフタイマー（📖30）、露出補正（📖32）は使えません。
- 動画撮影中にマクロモードの設定や変更はできません。撮影を開始する前に設定してください。
- 動画撮影を開始すると光学ズームは使えません。電子ズームは動画撮影の開始前は使えませんが、動画撮影中は2倍まで作動します。
- 動画モードでは、静止画の撮影モードに比べて画角（写る範囲）が小さくなります。

✔ 動画の記録についてのご注意

撮影終了後、撮影画面になるまでは画像の記録中です。**バッテリー/SDカードカバーを開けないでください。**動画の記録中にSDカードやバッテリーを取り出すと、動画が記録されないことや、撮影した動画やカメラ、SDカードが壊れることがあります。

動画撮影の設定を変更する

動画メニューで［**動画設定**］（📖71）、［**電子式手ブレ補正**］（📖72）を変更できます。

動画撮影の設定を変更する（動画メニュー）

動画メニューで［**動画設定**］、［**電子式手ブレ補正**］（□72）を変更できます。動画モードで、MENUボタンを押して動画メニューを表示し、マルチセレクターで設定してください。

動画設定

（動画）に設定 ➔ MENU（動画メニュー）➔ 動画設定

撮影する動画の種類を選びます。

種類	画像サイズとフレーム数
TV再生 640★ （初期設定）	画像サイズ：640×480ピクセル 撮影フレーム数：30フレーム/秒
TV再生 640	画像サイズ：640×480ピクセル 撮影フレーム数：15フレーム/秒
カメラ再生 320★	画像サイズ：320×240ピクセル 撮影フレーム数：30フレーム/秒
カメラ再生 320	画像サイズ：320×240ピクセル 撮影フレーム数：15フレーム/秒

動画の記録可能時間

種類	内蔵メモリー（約44 MB）	SDカード（512 MB）
TV再生 640★ （初期設定）	40秒	約7分10秒
TV再生 640	1分19秒	約14分10秒
カメラ再生 320★	1分19秒	約14分10秒
カメラ再生 320	2分36秒	約25分

※ 数値はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類によって記録可能時間は異なります。このカメラで記録できる動画1ファイルの最大記録可能時間は25分です。SDカードの残量にかかわらず、撮影時の画面に表示される記録可能時間は、最大25分です。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□130

電子式手ブレ補正

（動画）に設定 ➔ MENU（動画メニュー）➔ 電子式手ブレ補正

動画撮影時の電子式手ブレ補正を設定します。

種類	内容
ON	動画撮影時に手ブレの影響を軽減します。
OFF OFF（初期設定）	電子式手ブレ補正を行いません。

電子式手ブレ補正の設定状態は、撮影時の画面で確認できます（□6）（[**OFF**] のときは、何も表示されません）。

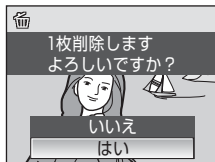
動画を再生する

1コマ表示（📖26）で動画設定（📖71）のアイコンが表示されている画像が動画です。OKボタンを押すと、再生できます。

再生中はズームレバー **T**/**W** で音量を調節できます。画面上部には操作パネルが表示されます。マルチセレクターの◀▶を押して操作パネルのボタンを選ぶと、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容	
巻き戻し	◀◀	OKボタンを押している間、巻き戻します。	
早送り	▶▶	OKボタンを押している間、早送りします。	
一時停止	❚❚	OKボタンを押すと、一時停止します。 一時停止中に画面上部の操作ボタンで、以下の操作ができます。	
		◀❚❚	OKボタンを押すと、1コマ戻ります。押し続けると、連続してコマ戻しします。
		❚❚▶	OKボタンを押すと、1コマ進みます。押し続けると、連続してコマ送りします。
		▶	OKボタンを押すと、再生を再開します。
再生終了	■	OKボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。	

動画ファイルを削除する

1コマ表示（📖26）、サムネイル表示（📖47）で動画を選んで🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。
［**はい**］を選んでOKボタンを押し、動画ファイルを削除します。削除をやめるときは、［**いいえ**］を選びます。

音声を録音する

音声レコードモードで、ボイスレコーダーのように、内蔵メモリーやSDカードに音声を録音できます。

1 撮影時に ◘ ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、マルチセレクターの▲▼でシーンアイコンを選ぶ

- シーンアイコンは前回設定したアイコンが表示されます。初期設定は、SCENE（おまかせシーン）です。

2 ▶を押し、▲▼◀▶で🎙を選び、OKボタンを押す

- 録音可能時間が表示されます。

3 マルチセレクターの◀▶を押して［○］を選び、OKボタンを押して録音を始める

- 録音中は表示ランプが点灯します。
- 録音開始後、カメラを操作しない状態が約30秒続くと、節電機能が働き液晶モニターが消灯します。液晶モニターを点灯するには、▶ボタンを押します。
- 音声録音中の操作→📖75

4 ◀▶を押して［■］を選び、OKボタンを押して録音を終了する

- 内蔵メモリー /SDカードの残量がなくなったとき、または録音時間が120分に達すると、録音が自動的に終了します。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→📖130

音声録音中の操作

機能	ボタン	内容
操作パネルのボタンを選ぶ		マルチセレクターの◀▶を押します。 [■]：OKボタンを押すと、録音を終了します。 [❚❚]：OKボタンを押すと、録音を一時停止します。一時停止中に［●］を選んでOKボタンを押すと、録音を再開します。
インデックス※を付ける		マルチセレクターの▲▼を押します。 インデックス（しおり）を付けると、再生時に聞きたい場所を見つけやすくなります。録音開始時のインデックスが01で、その後マルチセレクターを押すたびに、98までのインデックスを付けられます。

※ パソコンにコピーした音声データは、QuickTime などのソフトウェアで再生できますが、カメラで設定したインデックスは機能しません。

音声を再生する

1 撮影時に ◘ ボタンを押して撮影モードメニューを表示し、マルチセレクターの▲▼でシーンアイコンを選ぶ

2 ▶を押し、▲▼◀▶で🎙を選び、Ⓚボタンを押す

- 音声レコード画面が表示されます。

3 マルチセレクターの◀▶を押して［▶］を選ぶ

4 ▲▼で再生する音声レコードのデータを選び、Ⓚボタンを押す

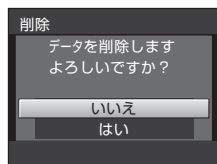
- 音声が再生されます。
- 音声再生中の操作→□77

音声再生中の操作

音声レコードのデータ再生中は、ズームレバー **T**/**W** で音量を調節できます。マルチセレクターの◀▶を押して、画面下部の操作パネルのボタンを選ぶと、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容
巻き戻し	◀◀	Ⓚボタンを押している間、巻き戻します。
早送り	▶▶	Ⓚボタンを押している間、早送りします。
前のインデックスへ	|◀◀	Ⓚボタンを押すと、前のインデックスに戻ります。
次のインデックスへ	▶▶|	Ⓚボタンを押すと、次のインデックスに進みます。
一時停止	❚❚ ▶	Ⓚボタンを押すと、一時停止します。 一時停止中に、Ⓚボタンを押すと、再生を再開します。
再生終了	■	Ⓚボタンを押すと、音声レコード画面に戻ります。

音声データを削除する

音声の再生中に🗑ボタンを押すか、音声レコード画面で削除する音声データを選んで🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。[**はい**] を選んでⓀボタンを押し、音声データを削除します。削除をやめるときは、[**いいえ**] を選びます。

音声データをコピーする

内蔵メモリーからSDカードに、またはSDカードから内蔵メモリーに、音声レコードで録音したデータをコピーできます。カメラにSDカードを入れてから操作してください。

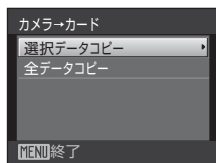
1 音声レコード画面（📖76 手順3）で、マルチセレクターの◀▶を押して**COPY**を選び、Ⓚボタンを押す

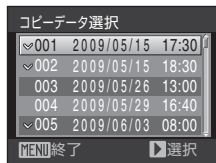
2 マルチセレクターでコピーする方向を選び、Ⓚボタンを押す

IN➡SD：内蔵メモリーからSDカードへコピーします。

SD➡IN：SDカードから内蔵メモリーへコピーします。

3 コピーの方法を選び、Ⓚボタンを押す

- ［**選択データコピー**］→手順4
- ［**全データコピー**］→手順5

4 コピーするデータを選ぶ

- ▶を押してデータの選択（チェックマークあり）/選択解除（チェックマークなし）を切り換えます。
- 複数のデータを選べます。
- 設定が終了したらⓀボタンを押します。

5 コピーを確認する画面が表示されたら、［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

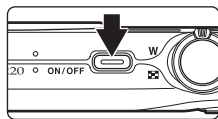
- 音声データがコピーされます。

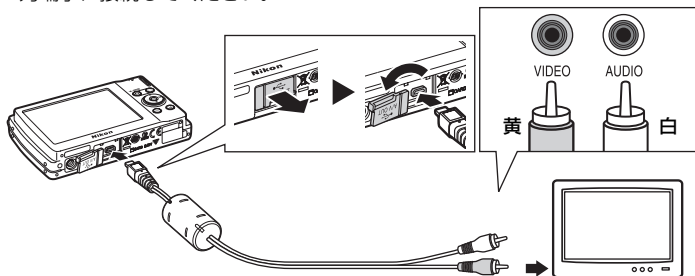
✔ 音声データコピーについてのご注意

COOLPIX S220 以外で録音した音声データについて、音声データコピー機能の動作は保証しておりません。

テレビに接続する

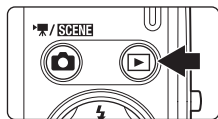
カメラを付属のオーディオビデオケーブル（AVケーブル）でテレビに接続すると、撮影した画像をテレビ画面で再生できます。

1 カメラの電源をOFFにする

2 カメラとテレビを接続する

- AVケーブルの黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、白のプラグを音声入力端子に接続してください。

3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの使用説明書をご覧ください。

4 カメラの▶ボタンを押し続けて電源をONにする

- カメラは再生モードになり、撮影した画像がテレビに表示されます。
- テレビとの接続中は、カメラの液晶モニターは消灯したままになります。

ケーブル接続時のご注意

ケーブルは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

画像がテレビに映らないときは

［**セットアップ**］メニュー（□111）→［**ビデオ出力**］（□124）がお使いのテレビに合っているか確認してください。

パソコンに接続する

付属のUSBケーブルでカメラをパソコンに接続すると、ソフトウェア「Nikon Transfer」を使って、撮影した画像をパソコンに転送して保存できます。

カメラとパソコンを接続する前に

ソフトウェアをインストールする

カメラとパソコンを接続する前に、付属のSoftware Suite CD-ROM を使って、パソコンに「Nikon Transfer」やパノラマ写真を作成する「Panorama Maker」などのソフトウェアをインストールします。ソフトウェアのインストール方法は、簡単操作ガイドをご覧ください。

対応OS

Windows

32 bit版のWindows Vista Service Pack 1（Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate）、
Windows XP Service Pack 3（Home Edition/Professional）

Macintosh

Mac OS X（version 10.3.9、10.4.11、10.5.5）

対応OSに関する最新情報は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

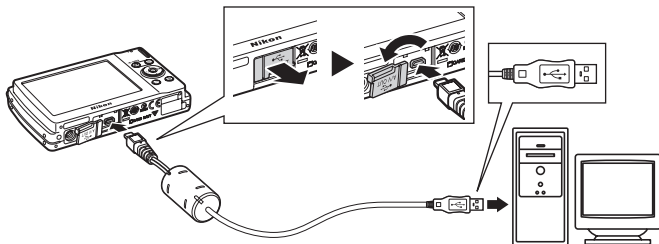
電源についてのご注意

- パソコン、プリンターなどと接続するときは、途中で電源が切れないように、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。
- 別売の AC アダプター EH-62D を使用すると、家庭用コンセント（AC 100 V）から COOLPIX S220へ電源を供給できます。EH-62D以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

カメラからパソコンに画像を転送する

1 Nikon Transferがインストールされているパソコンを起動する

2 カメラの電源をOFFにする

3 付属のUSBケーブルで、カメラとパソコンを接続する

4 カメラの電源をONにする

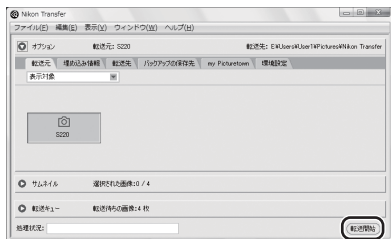
電源ランプが点灯します。

- Windows Vista の場合：
  ［**自動再生**］ダイアログが表示されたら、［**コンピュータにあるフォルダーに画像をコピーする - Nikon Transfer 使用**］をクリックし、Nikon Transferを起動します。
  常にNikon Transferで画像を転送する場合は、［**このデバイスの場合は常に次の動作を行う**］にチェックマークを入れてください。
- Windows XP の場合：
  起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたら、［**Nikon Transfer コンピュータにあるフォルダーに画像をコピーする**］を選び、［**OK**］をクリックしてNikon Transferを起動します。
  常にNikon Transferで画像を転送する場合は、［**この動作には常にこのプログラムを使う**］にチェックマークを入れてください。
- Mac OS Xの場合：
  Nikon Transferのインストールで、［**自動起動の設定**］を［**はい**］にした場合は、パソコンでNikon Transferが自動起動します。

ケーブル接続時のご注意

- ケーブルは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

5 Nikon Transferの起動が終わったら、画像を転送する

- Nikon Transferの［**転送開始**］ボタンをクリックします。記録されているすべての画像がパソコンに転送されます（Nikon Transferの初期設定）。

- 転送が終わると、転送先のフォルダーが自動的に開きます（Nikon Transferの初期設定）。
- ViewNX をインストールした場合は、ViewNX が自動的に起動し、転送した画像を確認できます。
- Nikon TransferまたはViewNXの操作方法については、Nikon TransferまたはViewNXのヘルプをご覧ください。

6 転送が終わったら、カメラとパソコンの接続を外す

カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。

カードリーダーを使う

Nikon Transferは、カードリーダーなどの機器に入れたSDカード内の画像も転送できます。

- 2 GB 以上のSD カードやSDHC規格のSDカードをお使いの場合は、カードリーダーなどの機器がそれらのSD カードに対応している必要があります。
- カードリーダーなどにSDカードを挿入すると、Nikon Transferが自動起動します（Nikon Transferの初期設定）。「カメラからパソコンに画像を転送する」の手順5（82）を参照して、画像を転送してください。
- 内蔵メモリーのデータは、カメラでSDカードにコピーしてから（78、109）転送してください。

パソコンで画像を表示したり、音声を再生するには

- 画像を保存した転送先のフォルダーを開き、OS付属のビューアなどで表示してください。
- 音声データは、QuickTimeなどで再生できます。

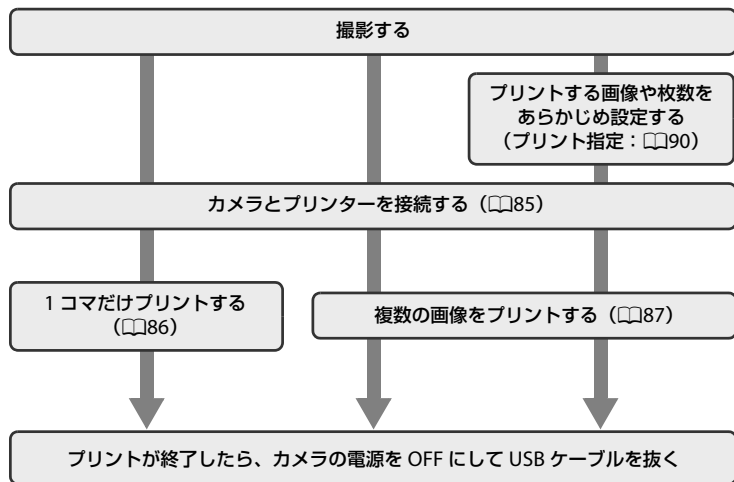
パノラマ写真に合成するには（Panorama Maker）

- シーンモードの［**パノラマアシスト**］機能（39）を使って撮影した画像を、Panorama Makerを使ってパノラマ写真に合成できます。
- Panorama Makerは、付属のSoftware Suite CD-ROMでインストールできます。
- Panorama Makerをインストールしたら、次のように起動します。
  Windows：［**スタート**］から［**すべてのプログラム**］→［**ArcSoft Panorama Maker 4**］→［**Panorama Maker 4**］の順にクリックしてください。
  Macintosh：［**アプリケーション**］フォルダーを開き、［**Panorama Maker 4**］をダブルクリックしてください。
- Panorama Makerの使い方は、Panorama Makerの操作画面やヘルプをご覧ください。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→130

プリンターに接続する

PictBridge（📖149）対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。ダイレクトプリントの手順は、以下のとおりです。

電源についてのご注意

- パソコン、プリンターなどと接続するときは、途中で電源が切れないように、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。
- 別売の AC アダプター EH-62D を使用すると、家庭用コンセント（AC 100 V）から COOLPIX S220へ電源を供給できます。EH-62D以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

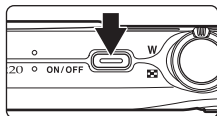
画像のプリント方法について

SDカードに記録した画像は、パソコンに転送したり、カメラをプリンターに接続してプリントする他に次の方法でプリントできます。

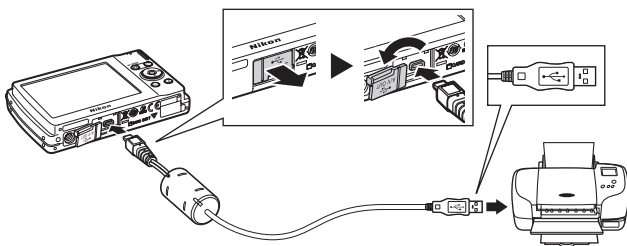
- カードスロットが付いたDPOF対応プリンターでプリントする。
- プリントサービス店にプリントを依頼する。

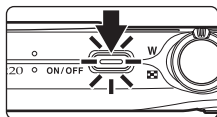
これらの方法でプリントするときは、プリントする画像やプリント枚数などを、カメラの［**プリント指定**］メニューを使って、あらかじめSDカードに設定できます（📖90）。

カメラとプリンターを接続する

1 カメラの電源をOFFにする

2 プリンターの電源をONにする

- プリンターの設定を確認してください。

3 付属のUSBケーブルで、カメラとプリンターを接続する

4 カメラの電源をONにする

- 正しく接続されると、カメラの液晶モニターに①の画面が表示された後、［**プリント画像選択**］画面②が表示されます。

ケーブル接続時のご注意

ケーブルは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

1コマだけプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから（□85）、以下の手順でプリントしてください。

1 マルチセレクターでプリントする画像を選び、Ⓚボタンを押す

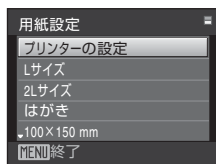
- ズームレバーを**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に、**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に切り換わります。

2 ［**プリント枚数設定**］を選び、Ⓚボタンを押す

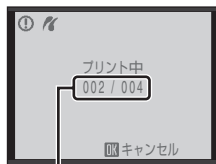
3 プリント枚数（9枚まで）を設定し、Ⓚボタンを押す

4 ［**用紙設定**］を選び、Ⓚボタンを押す

5 用紙サイズを選び、Ⓚボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選びます。

6 ［プリント実行］を選び、ⓚボタンを押す

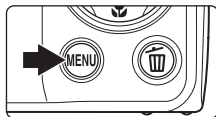
7 プリントが始まる

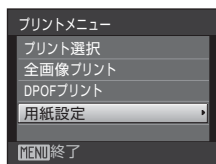
- プリントが終わると、手順1の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、ⓚボタンを押します。

プリント中の枚数/総枚数

複数の画像をプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから（□85）、以下の手順でプリントしてください。

1 ［プリント画像選択］画面が表示されたら、MENUボタンを押す

- ［**プリントメニュー**］画面が表示されます。

2 マルチセレクターで［**用紙設定**］を選び、ⓚボタンを押す

- プリントメニューを終了したいときは、MENUボタンを押します。

3 用紙サイズを選び、ⓚボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選びます。

4 ［**プリント選択**］、［**全画像プリント**］または［**DPOFプリント**］を選んで、Ⓚボタンを押す

プリント選択

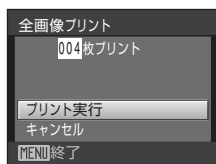
プリントする画像（最大99コマまで）と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定できます。

- マルチセレクターの ◀▶ を押して画像を選び、▲▼ を押してプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと 1 コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと 12 コマ表示に切り換わります。
- 設定が終了したら Ⓚ ボタンを押します。

- 表示される右の画面で、［**プリント実行**］を選び、Ⓚ ボタンを押すと画像のプリントが始まります。
- ［**キャンセル**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。

全画像プリント

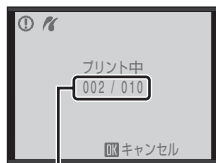
SDカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントできます。

- 表示される右の画面で、［**プリント実行**］を選び、Ⓚ ボタンを押すと画像のプリントが始まります。
- ［**キャンセル**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。

DPOFプリント

［**プリント指定**］（📖90）であらかじめ指定しておいた画像をプリントできます。

- 表示される右の画面で、［**プリント実行**］を選び、Ⓞ ボタンを押すと画像のプリントが始まります。
- ［**キャンセル**］を選んで Ⓞ ボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。
- ［**画像の確認**］を選んで Ⓞ ボタンを押すと、どの画像をプリント指定したか確認できます。もう一度 Ⓞ ボタンを押すと、画像のプリントが始まります。

5 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順2の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、Ⓞボタンを押します。

プリント中の枚数/総枚数

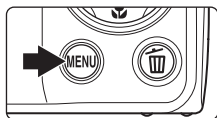
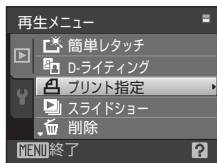
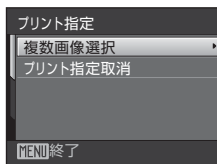
用紙設定について

用紙設定画面では、［**プリンターの設定**］以外に、［**L サイズ**］、［**2L サイズ**］、［**はがき**］、［**100×150mm**］、［**4×6 in.**］、［**8×10 in.**］、［**Letter**］、［**A3 サイズ**］、［**A4 サイズ**］のうち、プリンターが対応している用紙サイズを表示します。

SDカードにプリントする画像や枚数を設定する（プリント指定）

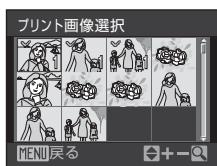
DPOF（□149）対応のプリンターやプリントサービス店で画像をプリントする際は、どの画像を何枚プリントするかをあらかじめ指定できます。
プリント指定で設定した画像の選択やプリント枚数で、カメラをPictBridge対応プリンターに接続してプリントすることもできます。カメラからSDカードを取り外すと、内蔵メモリーに記録した画像にもプリント指定できます。

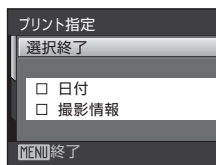
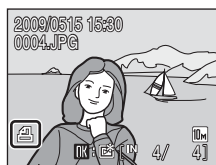
1 再生モードでMENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで［プリント指定］を選び、ⓚボタンを押す

3 ［複数画像選択］を選び、ⓚボタンを押す

4 プリントする画像（最大99コマまで）と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定する

- マルチセレクターの ◀▶ を押して画像を選び、▲▼を押してプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。

- ズームレバーをT（Q）方向に回すと1コマ表示に、W（▦）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。
- 設定が終了したらⓚボタンを押します。

テレビやパソコン、プリンターに接続する

5 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- ［**日付**］を選んで ® ボタンを押すと、すべての画像に撮影日を印字します。
- ［**撮影情報**］を選んで ® ボタンを押すと、すべての画像に撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を印字します。
- ［**選択終了**］を選んで®ボタンを押し、設定を有効にします。

［**プリント指定**］を行った画像は、再生時の画面で確認できます。

日付と撮影情報を入れてプリントするときのご注意

プリント指定で設定した［**日付**］と［**撮影情報**］は、「日付」や「撮影情報」が印字可能なDPOF対応プリンター（□149）で印字できます。

- 付属のUSBケーブルでカメラをプリンターに接続して「DPOFプリント」（□89）するときは、「撮影情報」は印字できません。
- プリント設定を行った後、再び［**プリント設定**］メニューを表示すると、［**日付**］と［**撮影情報**］の設定はリセットされますのでご注意ください。

プリント指定をすべて取り消すには

すべての画像に対するプリント指定を取り消すには、手順3で［**プリント指定取消**］を選び®ボタンを押します。

日付のプリントについて

プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にセットアップメニューの［**日時設定**］を変更してもプリントされる日付には反映されません。

［デート写し込み］について

セットアップメニューの［**デート写し込み**］（□119）を使うと、画像に直接日付を写し込んで記録できます。「デート写し込み」した画像は、日付の印字に対応していないプリンターでも「日付」を入れてプリントできます。

デート写し込みした画像は、［**プリント指定**］で日付の設定をしても、デート写し込みした日付のみがプリントに表示されます。

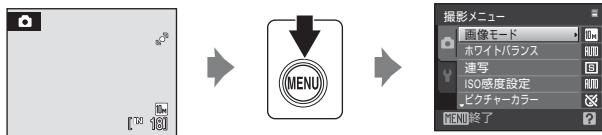
撮影に関する設定―撮影メニュー

オート撮影モードの撮影メニューには、以下の項目があります。

	画像モード※	📖93
	記録時の画像モード（画像の大きさと圧縮率の組み合わせ）を選びます。	
WB	**ホワイトバランス**	📖95
	画像を見た目に近い色で記録するように、光源に合わせてホワイトバランスを設定します。	
	連写	📖97
	連写（連続撮影）やBSS（ベストショットセレクター）を設定できます。	
ISO	**ISO感度設定**	📖99
	被写体の明るさなどに応じて、ISO感度を設定します。	
	ピクチャーカラー	📖99
	記録する画像の色調を変えます。	
	AFエリア選択	📖100
	画面のどの位置でピントを合わせるかを設定します。	
	ゆがみ補正	📖103
	ゆがみを補正するかどうかを設定します。	

※［**画像モード**］は、その他の撮影モードのメニューでも設定できます（動画メニューを除く）。

撮影メニューの表示方法

カメラを📷（オート撮影）モードにします（📖20）。
MENUボタンを押して、撮影メニューを表示します。

- メニューの選択と設定にはマルチセレクターを使います（📖9）。
- 撮影メニューを終了するには、MENUボタンを押します。

同時に設定できない機能について

複数の機能を同時に設定できないことがあります（📖104）。

画像モード

（オート撮影）に設定 → MENU（撮影メニュー）→ 画像モード

画像モード（画像サイズと圧縮率の組み合わせ）を選びます。画像の用途や内蔵メモリー/SDカードの残量に合わせて設定してください。画像サイズの大きい画像モードほど、大きくプリントするのに適していますが、記録できるコマ数は少なくなります。

画像モード	画像サイズ（ピクセル）	内　容
高画質（3648★）	3648×2736	［**標準**］よりも精細な画像になります。圧縮率は約1/4です。
標準（3648）（初期設定）	3648×2736	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適した画像モードです。圧縮率は約1/8です。
標準（2592）	2592×1944	
エコノミー（2048）	2048×1536	［**標準**］よりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約1/8です。
パソコン（1024）	1024×768	パソコンのモニターに表示するときに適しています。圧縮率は約1/8です。
TV（640）	640×480	電子メールへの添付や、テレビへの表示に適しています。圧縮率は約1/8です。
16:9（3584）	3584×2016	縦横比が16:9の画像を撮影できます。圧縮率は約1/8です。

画像モードの設定は、撮影時や再生時の画面で確認できます（6、7）。

画像モードの設定について

画像モードの設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります（動画メニューを除く）。

記録可能コマ数

内蔵メモリーや512 MBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なることがあります。

画像モード	内蔵メモリー（約44 MB）	SDカード※1（512 MB）	プリント時の大きさ※2
高画質（3648★）	9コマ	約95コマ	約31×23 cm
標準（3648）	18コマ	約190コマ	約31×23 cm
標準（2592）	35コマ	約375コマ	約22×16.5 cm
エコノミー（2048）	55コマ	約590コマ	約17×13 cm
パソコン（1024）	188コマ	約2010コマ	約9×7 cm
TV（640）	353コマ	約3775コマ	約5×4 cm
16:9（3584）	25コマ	約265コマ	約30×17 cm

※1 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

※2 出力解像度を300 dpiに設定した場合のサイズです。
ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）× 2.54 cm で計算しています。同じ画像サイズでも、高い解像度で印刷すると印刷サイズは小さくなり、低い解像度で印刷すると、印刷サイズは大きくなります。

WB ホワイトバランス

(オート撮影)に設定 ➔ MENU(撮影メニュー)➔ WB ホワイトバランス

人間の目には、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。人間の目に白く見える色を、デジタルカメラで白く撮影するには、光源の色に合わせて調整する必要があります。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。
初期設定の[**オート**]でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせて設定を変更してください。

AUTO	**オート(初期設定)**
	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。ほとんどの場合、この設定のままで撮影できます。
PRE	**プリセットマニュアル**
	特殊な照明の下などでの撮影に適しています。詳しくは「プリセットマニュアルの使い方(96)」をご覧ください。
	晴天
	晴天の屋外での撮影に適しています。
	電球
	白熱電球の下での撮影に適しています。
	蛍光灯
	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
	曇天
	曇り空の屋外での撮影に適しています。
	フラッシュ
	フラッシュを使う撮影に適しています。

ホワイトバランスの設定は、撮影時の画面で確認できます([**オート**]のときは、何も表示されません)(6)。

[オート]、[フラッシュ]以外を選んだ場合

[**オート**]、[**フラッシュ**]以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを(発光禁止)に設定してください(28)。

プリセットマニュアルの使い方

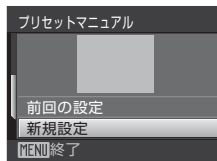
特殊な照明の下で撮影するときなど、［**オート**］や［**電球**］などの設定では望ましい結果が得られない場合に使用します（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せたいときなど）。

1 撮影する照明下で、白またはグレーの被写体を用意する

2 マルチセレクターで［**ホワイトバランス**］画面の［**PRE プリセットマニュアル**］を選び、Ⓚボタンを押す

- レンズが望遠側のズーム位置になります。

3 ［**新規設定**］を選ぶ

- 前回プリセットしたホワイトバランスを使いたいときは、［**前回の設定**］を選んでⓀボタンを押してください。ホワイトバランスが前回のプリセット値に設定されます。

4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を収める

測定窓

5 Ⓚボタンを押して、ホワイトバランス値を測定する

- シャッターがきれて、ホワイトバランスのプリセット値が新たに設定されます。
- 画像は記録されません。

✔ プリセットマニュアルについてのご注意

手順5でⓀボタンを押したとき、フラッシュは発光しません。このため、フラッシュ撮影時のホワイトバランスの測定はできません。

連写

（オート撮影）に設定 ➔ MENU（撮影メニュー）➔ 連写

連写（連続撮影）やBSS（ベストショットセレクター）を設定できます。
連写、BSS、マルチ連写に設定するとフラッシュは発光禁止になり、ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。

単写（初期設定）

1コマずつ撮影します。

連写

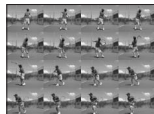
シャッターボタンを全押ししている間､約1.2コマ/秒で最大6コマまで連写できます（画像モードが 標準（3648）のとき）。

BSS（ベストショットセレクター）

暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど、手ブレしやすい状況で撮影する場合に設定します。
シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け（最大10コマ）、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。

マルチ連写

シャッターボタンを1回全押しすると約7コマ/秒で16コマの連続写真を撮影し、1コマの画像（画像モードは［**標準（2592）**］）として記録します。

- 電子ズームは使えません。
- ［**ISO 感度設定**］（□99）は［**オート**］、［**ピクチャーカラー**］（□99）は［**標準カラー**］に固定されます。

インターバル撮影

あらかじめ設定した撮影間隔（インターバル）で、静止画を自動的に連続撮影します（□98）。

連写モードの設定は、撮影時の画面で確認できます（［**単写**］のときは、何も表示されません）（□6）。

連写についてのご注意

画像モードやSDカードの種類により、最大連写速度が遅くなることがあります。

マルチ連写についてのご注意

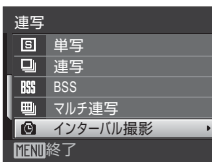
マルチ連写では、画面内に太陽や電灯などの輝度の高い被写体があると、記録した画像の上下方向に光の帯が発生することがあります。マルチ連写では、太陽や電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

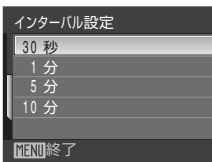
BSSについてのご注意

BSSは静止している被写体の撮影に効果的です。動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られない場合があります。

インターバル撮影の使い方

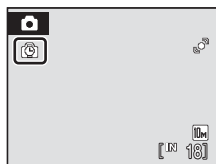
撮影間隔（インターバル）を決めて、静止画を自動的に連続撮影します。
撮影間隔は、［**30秒**］、［**1分**］、［**5分**］または［**10分**］に設定できます。

1 ［**連写**］画面からマルチセレクターで［**インターバル撮影**］を選び、Ⓚボタンを押す

2 撮影間隔を選び、Ⓚボタンを押す

- インターバル撮影できる最大撮影コマ数は、撮影間隔によって異なります。
  ［**30秒**］：600コマ
  ［**1分**］　：300コマ
  ［**5分**］　：60コマ
  ［**10分**］：30コマ

3 MENUボタンを押してメニュー表示を終了する

- 撮影画面に戻ります。

4 シャッターボタンを全押しして、1コマ目の撮影を開始する

- 撮影の合間は、液晶モニターが消灯し、電源ランプが点滅します。
- 次のコマの撮影直前になると、自動的に液晶モニターが再点灯します。

5 もう一度シャッターボタンを全押しして、撮影を終了する

- 内蔵メモリー /SDカードの残量がなくなったとき、または最大撮影コマ数に達すると、撮影が自動的に終了します。

インターバル撮影についてのご注意

- 途中でバッテリーが切れないように、充分に充電したバッテリーをお使いください。
- 別売のACアダプター　EH-62Dを使用すると、家庭用コンセント（AC 100 V）からCOOLPIX S220へ電源を供給できます。EH-62D以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名➞□130

ISO ISO感度設定

(オート撮影)に設定 ➔ MENU(撮影メニュー)➔ ISO ISO感度設定

フィルムカメラで使うフィルムのISO感度に相当する数値を設定します。ISO感度を高くすると、暗い場所や動いている被写体の撮影に効果的ですが、撮影した画像が多少ざらつく場合があります。

オート(初期設定)

明るい場所ではISO 80になり、暗い場所では自動的にISO 800までISO感度が高くなります。

高感度オート

被写体の明るさに応じて、ISO 80からISO 1600までの範囲でISO感度が自動的に設定されます。

80、100、200、400、800、1600、2000

ISO感度を選んだ値に固定します。

・[**オート**]以外に設定すると、[**モーション検知**](□120)は作動しません。

ISO感度の設定は、撮影時の画面で確認できます(□6)。[**オート**]に設定した場合、ISO 80で撮影できるときは何も表示されず、ISO感度が自動的に上がったときにISOマークが表示されます(□29)。[**高感度オート**]に設定したときはHI ISOが表示されます。

ピクチャーカラー

(オート撮影)に設定 ➔ MENU(撮影メニュー)➔ ピクチャーカラー

記録する画像の色調を変えます。

標準カラー(初期設定)

自然な色調になります。

ビビッドカラー

はっきりした色調になります。

白黒

白黒写真になります。

セピア

セピア色になります。

クール

ブルー系のモノトーンになります。

パステル

パステル調になります。

ピクチャーカラーの設定は、撮影時の画面で確認できます([**標準カラー**]のときは、何も表示されません)。また設定に応じて、画面の色調も変わります(□6)。

[+] AFエリア選択

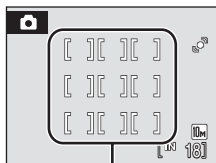
◘（オート撮影）に設定 ➔ MENU（撮影メニュー）➔ [+] AFエリア選択

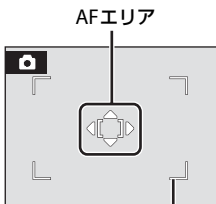
画面のどの位置でピントを合わせるかを設定します。
電子ズーム使用時は、AFエリア選択の設定にかかわらず、画面中央でピント合わせを行います。

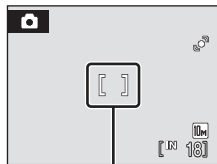
顔認識オート（初期設定）

カメラが人物の顔（正面）を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について➞📖102）。
複数の顔を認識したときは、最もカメラに近い顔にピントが合います。
人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、AFエリア選択が［**オート**］になり、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。

オート

9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアにピントが合います。
シャッターボタンを半押しするまで、AFエリアは表示されません。
半押しすると、ピントが合ったAFエリアが画面に表示されます。

マニュアル

画面内の99カ所から、ピントを合わせたい位置を自分で選びます。
比較的動きの少ない被写体が画面中央にない場合に適しています。マルチセレクターの▲▼◀▶を押して、画面に表示されているAFエリアを、ピントを合わせたい位置に動かしてから撮影します。
フラッシュモードやマクロモード、セルフタイマー、露出補正の設定を変更するには、Ⓚボタンを押していったんAFエリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。もう一度Ⓚボタンを押すと、再びAFエリアを選べる状態になります。

[▪] 中央

画面中央の被写体にピントが合います。
AFエリアが画面中央に常に表示されます。

フォーカスロック撮影

AF（オートフォーカス）エリアが画面中央でも、ピントを固定（フォーカスロック）する方法を使うと、構図を工夫して撮影することができます。
ここでは、［**AFエリア選択**］を［**中央**］に設定した場合のフォーカスロックの操作方法を説明します。

1 ピントを合わせる被写体を画面中央に配置する

2 シャッターボタンを半押しする
・ピントが合い、AFエリアが緑色に点灯します。
・露出も固定されます。

3 半押ししたまま構図を変える
・被写体との距離は変えないでください。

4 シャッターボタンを全押しして撮影する

関連ページ

オートフォーカスが苦手な被写体→□25

顔認識撮影について

人物の顔（正面）にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。
以下のような場合は、顔認識機能が働きます。

- AFエリア選択が［**顔認識オート**］のとき（初期設定）（□100）
- シーンモードが［**おまかせシーン**］（□34）、［**ポートレート**］（□34）または［**夜景ポートレート**］（□35）のとき
- 笑顔撮影モードのとき（□45）

1 構図を決める

- カメラが人物の顔（正面）を認識すると、顔が黄色い二重枠のAFエリアで囲まれます。

- 複数の顔を認識したときは、撮影モードによって以下のように動作が変わります。

撮影モード	二重枠で囲まれる顔	認識する顔の数
オート撮影モード（［**顔認識オート**］）	カメラに最も近い顔 ※他の顔は一重枠	最大12人
シーンモードの［**おまかせシーン**］、［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］		
笑顔撮影モード	画面中央に最も近い顔 ※他の顔は一重枠	最大3人

2 シャッターボタンを半押しする

- 二重枠で囲まれた顔にピントが合います。二重枠が緑色になりピントが固定されます。
- 二重枠が点滅しているときは、顔にピントが合っていません。もう一度シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてください。
- シャッターボタンを全押しすると、シャッターがきれます。

- 笑顔撮影モードでは、シャッターボタンを半押しする必要はありません。笑顔を検出すると自動的にシャッターがきれます（□45）。

撮影、再生、セットアップメニューを使う

顔認識についてのご注意

- ［**顔認識オート**］では、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、AFエリア選択は、［**オート**］になります。
- シーンモードの［**ポートレート**］または［**夜景ポートレート**］と、笑顔撮影モードでは、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- 次のような場合は、カメラは人物の顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている。
  - 人物が横を向いている。
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている。
- どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどの撮影条件によって異なります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（□25）の撮影では、二重枠が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。ピントが合わないときは、オート撮影モードなどでAFエリア選択を［**マニュアル**］か［**中央**］に切り換え、同距離にある別の被写体でピントを合わせるフォーカスロック撮影（□101）をお試しください。
- 顔認識して撮影した画像は、1コマ表示で再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます。

ゆがみ補正

（オート撮影）に設定 ➔ MENU（撮影メニュー）➔ ゆがみ補正

ゆがみを補正するかどうかを設定します。ゆがみを補正すると、ゆがみを補正しない場合に比べて、撮影範囲が狭くなります。

ON

レンズの特性によって画像周辺部に生じるゆがみを補正します。

OFF（初期設定）

ゆがみを補正しません。

ゆがみ補正の設定は、撮影時の画面で確認できます（□6）。［**OFF**］のときは何も表示されません。

同時に設定できない機能

（オート撮影）モードでは、以下のように、複数の機能を同時に設定できないことがあります。

フラッシュモード

［**連写**］の設定を［**連写**］、［**BSS**］または［**マルチ連写**］にすると、フラッシュモードは（発光禁止）に固定されます。
［**連写**］の設定を［**単写**］か［**インターバル撮影**］に戻すと、元のフラッシュモードに戻ります。

セルフタイマー

セルフタイマーをONにすると、［**連写**］の設定にかかわらず、［**単写**］として動作します。
セルフタイマーをOFFにする（またはセルフタイマー撮影が完了する）と、［**連写**］の設定が有効になります。

連写

［**連写**］の設定を［**マルチ連写**］にすると、［**画像モード**］は［**標準（2592）**］、［**ISO感度設定**］は［**オート**］、［**ピクチャーカラー**］は［**標準カラー**］に固定されます。
［**連写**］の設定を［**マルチ連写**］以外に戻すと、元の設定に戻ります。

ホワイトバランスとピクチャーカラー

［**ピクチャーカラー**］を［**白黒**］、［**セピア**］、または［**クール**］のいずれかにすると、［**ホワイトバランス**］は［**オート**］に固定されます。
［**ピクチャーカラー**］を［**標準カラー**］、［**ビビッドカラー**］、または［**パステル**］に戻すと、元の［**ホワイトバランス**］の設定に戻ります。

ゆがみ補正

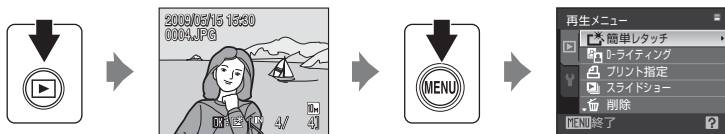
［**ゆがみ補正**］を［**ON**］にすると、［**連写**］の設定は［**単写**］に変更されます。［**ゆがみ補正**］を［**OFF**］に戻しても、［**連写**］の設定は［**単写**］のままです。

再生に関する設定―再生メニュー

再生メニューには、以下の項目があります。

項目	参照
簡単レタッチ	51
コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成できます。	
D-ライティング	52
撮影した画像の暗い部分を明るく補正します。	
プリント指定	90
プリンターでプリントする画像や、その枚数などを設定します。	
スライドショー	107
内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。	
削除	108
画像を削除します。	
プロテクト設定	108
大切な画像を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。	
画像回転	109
撮影した画像の向きを変更します。	
スモールピクチャー	54
撮影した画像から、小さいサイズの画像を新しく作ります。	
音声メモ	55
画像に音声メモを付けます。	
画像コピー	109
内蔵メモリーとSDカードの間で画像をコピーします。	

再生メニューの表示方法

▶ボタンを押して再生モードにします（26）。
MENUボタンを押して、再生メニューを表示します。

- メニューの選択と設定にはマルチセレクターを使います（9）。
- 再生メニューから再生に戻るには、MENUボタンを押します。

画像選択画面の操作方法

以下のメニューでは、画像選択時に右のような画面が表示されます。

- **再生メニュー**：プリント指定の［**複数画像選択**］（□90）
  削除の［**削除画像選択**］（□108）
  プロテクト設定（□108）
  画像回転（□109）
  画像コピーの［**選択画像コピー**］（□109）
- **セットアップメニュー**：オープニング画面（□114）

以下の手順で画像を選びます。

1 マルチセレクターの◀▶を押して、画像を選ぶ

- ［**画像回転**］と［**オープニング画面**］の画像選択では、1画像しか選べません。→手順3へ
- ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと 1 コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。

2 ▲▼を押してON/OFF（またはプリント枚数）を設定する

- ON にすると、選択画像にチェックマークが表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。

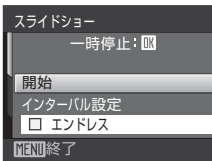
3 Ⓚボタンを押して画像選択を決定する

スライドショー

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU（再生メニュー）➔ スライドショー

内蔵メモリー/SDカードに記録した画像を、1コマずつ順番に自動再生します。

1 マルチセレクターで［開始］を選び、OK ボタンを押す

- 画像の表示時間を変更するには、［**開始**］を選ぶ前に［**インターバル設定**］を選んでOKボタンを押し、画像の表示時間を選びます。
- 繰り返し再生するには、［**開始**］を選ぶ前に［**エンドレス**］を選んでOKボタンを押し、チェックボックスをオン［✔］にします。

2 スライドショーが始まる

- 再生中にマルチセレクターの▶を押すと次の画像、◀を押すと前の画像を表示します（ボタンを押し続けると早送り/早戻しになります）。
- 再生中にOKボタンを押すと一時停止します。

3 終了または再開する

- スライドショー終了時や一時停止中に［**終了**］を選び、OKボタンを押すと再生メニューに戻ります。［**再開**］を選ぶとスライドショーを再開します。

スライドショーについてのご注意

- 動画（□73）は1フレーム目だけを表示します。
- スライドショーを連続再生できる時間は、［**エンドレス**］に設定している場合も含め、最大約30分です（□122）。

削除

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU（再生メニュー）➔ 削除

画像を削除します。

削除画像選択

画像選択画面（106）で、画像を選んで削除します。

全画像削除

すべての画像を削除します。

画像削除についてのご注意

- 削除した画像はもとに戻せないため、ご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- マークが表示されている画像は、プロテクト（保護）されているので削除されません。

プロテクト設定

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU（再生メニュー）➔ プロテクト設定

大切な画像を誤って削除しないように、画像にプロテクト（保護）を設定できます。
画像選択の画面で、画像を選んで設定します（操作方法→106）。
ただし、内蔵メモリー /SDカードを初期化（フォーマット、123）すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。
プロテクト設定した画像は、カメラでの再生時にマーク（7、47）が表示されます。

画像回転

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU（再生メニュー）➔ 画像回転

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。撮影時に縦位置で記録された画像は、時計回り/反時計回りのどちらか一方向に180度まで回転できます。

画像選択画面（📖106）で回転する画像を選ぶと［**画像回転**］画面が表示されます。マルチセレクターの◀または▶を押すと90度回転します。

反時計方向に
90度回転

時計方向に
90度回転

Ⓚボタンを押すと、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。

画像コピー

▶ボタンを押す（再生モード）➔ MENU（再生メニュー）➔ 画像コピー

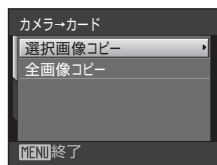
内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。

1 **マルチセレクターでコピーする方向を選び、Ⓚボタンを押す**

- IN➔SD：内蔵メモリーから SD カードへコピーします。
- SD➔IN：SD カードから内蔵メモリーへコピーします。

撮影、再生、セットアップメニューを使う

2 コピーの方法を選び、®ボタンを押す

- 選択画像コピー ：画像選択画面（□106）で、画像を選んでコピーします。
- 全画像コピー ：すべての画像をコピーします。

画像コピーについてのご注意

- コピーできるファイルの形式は、JPEG、AVI、WAV です。これ以外の形式のファイルはコピーできません。
- 画像コピーでは、画像に付けた「音声メモ」（□55）も画像と同時にコピーします。
- 「音声レコード機能」（□74）で録音したデータは、［**音声データコピー**］でコピーできます（□78）。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像のコピーは動作を保証していません。
- ［**プリント指定**］（□90）した画像をコピーしても、プリント指定の設定内容はコピーされません。［**プロテクト設定**］（□108）した画像をコピーすると、コピー先の画像もプロテクトされます。
- 内蔵メモリーまたはSDカードからコピーした画像は、オート分類再生モード（□60）で表示できません。
- お気に入り登録（□65）した画像をコピーしても、お気に入り登録の登録内容はコピーされません。

［撮影画像がありません］のメッセージについて

SDカードに画像が記録されていないときに再生モードに切り換えると、［**撮影画像がありません**］と表示されますが、MENUボタンを押すと［**画像コピー**］画面が表示され、内蔵メモリーの画像をSDカードにコピーできます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→□130

カメラに関する基本設定―セットアップメニュー

セットアップメニューには、以下の項目があります。

電子式手ブレ補正 □113
静止画を撮影するときの電子式手ブレ補正を設定します。

メニュー切り換え □114
メニューの表示形式を切り換えます。

オープニング画面 □114
電源をONにしたときに表示される「オープニング画面」について設定します。

日時設定 □115
内蔵時計を合わせます。

モニター設定 □118
モニター表示設定、撮影後の画像表示、および画面の明るさを設定します。

デート写し込み □119
画像に撮影日時を写し込む設定を行います。

モーション検知 □120
静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。

電子ズーム □121
電子ズームの動作を設定します。

操作音 □121
操作音について設定します。

オートパワーオフ □122
待機状態に入るまでの時間を設定します。

メモリーの初期化/カードの初期化（フォーマット） □123
内蔵メモリー /SDカードを初期化します。

言語/Language □124
画面に表示する言語を設定します。

ビデオ出力 □124
テレビとの接続に必要な設定を行います。

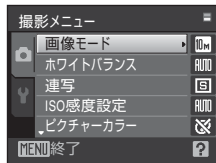
目つぶり検出設定 □124
顔認識撮影（□102）したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。

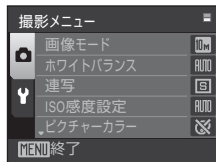
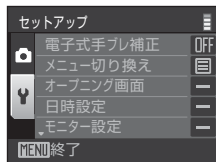
設定クリアー □126
各種設定を初期状態に戻します。

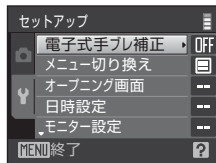
バージョン情報 □128
ファームウェアの情報を表示します。

セットアップメニューの表示方法

メニュー画面を表示して、Y（セットアップ）タブを選びます。

1 MENU ボタンを押してメニュー画面を表示する

2 マルチセレクターの◀を押す

- タブが選べるようになります。

3 ▲▼を押してYタブを選ぶ

4 ▶またはⓀボタンを押す

- セットアップメニューの項目が選べるようになります。

- メニューの選択と設定には、マルチセレクターを使います（□9）。
- セットアップメニューを終了するには、MENU ボタンを押すか、◀を押して他のタブを選びます。

電子式手ブレ補正

MENUボタンを押す ➔ (セットアップメニュー) (112) ➔ 電子式手ブレ補正

静止画を撮影するときの電子式手ブレ補正を設定します。

AUTO
次の条件がそろうと、静止画の撮影時に電子式手ブレ補正を行い、手ブレの影響を軽減します。 ・フラッシュモードが［**発光禁止**］または［**スローシンクロ**］のとき ・シャッタースピードが低速のとき ・［**連写**］の設定が［**単写**］のとき
OFF（初期設定）
電子式手ブレ補正を行いません。

［**AUTO**］に設定すると、撮影画面にが表示されたときに、撮影状況に応じてカメラが補正を行います（6）。

電子式手ブレ補正のご注意

- スローシンクロを除き、フラッシュ使用時は電子式手ブレ補正は行われません。
- 露光時間が一定値よりも長時間の場合、電子式手ブレ補正は作動しません。
- 手ブレが大きい場合、電子式手ブレ補正の効果が低くなります。
- 被写体ブレは補正できません。
- 補正した画像の記録には時間がかかります。
- ISO感度が800以上のときは動作しません。
- デート写し込み（119）と同時には使用できません。電子式手ブレ補正の設定を［**AUTO**］にすると、デート写し込みは自動的に［**OFF**］になります。
- 赤目軽減自動発光機能と同時には使用できません。

動画の電子式手ブレ補正について

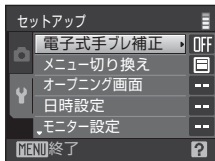
動画撮影時の手ブレ補正は、動画メニュー（71）の［**電子式手ブレ補正**］（72）で設定します。

メニュー切り換え

MENUボタンを押す ➔ (セットアップメニュー)(112) ➔ メニュー切り換え

メニューの表示方法を選べます。

文字タイプ(初期設定)

メニュー名を一覧表示します。

アイコンタイプ

メニューの全項目を1画面に表示できます。

オープニング画面

MENUボタンを押す ➔ (セットアップメニュー)(112) ➔ オープニング画面

カメラの電源をONにしたときに液晶モニターに表示するオープニング画面を設定します。

なし(初期設定)

オープニング画面を表示しません。

COOLPIX

オープニング画面を表示します。

撮影した画像

内蔵メモリー/SDカードの画像を、オープニング画面として登録できます。
［**画像の選択**］画面で画像を選び、Ⓚボタンを押します。
登録した画像はカメラに記憶されるため、元画像を削除しても、オープニング画面に残ります。

- ［**画像モード**］(93)を［**16:9(3584)**］にして撮影した画像、およびトリミング(53)やスモールピクチャー(54)で作成した画像サイズ320 × 240以下の画像は登録できません。

⊕ 日時設定

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□112）➔ ⊕ 日時設定

カメラに内蔵された時計を設定します。
海外旅行などに便利なワールドタイム（時差を自動的に計算する機能）も設定できます。

日時

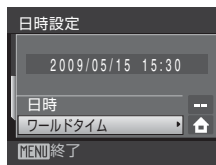
内蔵時計の日付と時刻を設定します。
表示される設定画面の操作方法は以下のとおりです。
- ◀、▶：項目（年、月、日、時、分、年月日の並び順）を移動します。
- ▲、▼：項目の内容を合わせます。
- ⓚ：設定が有効になります。

ワールドタイム

自宅（⌂）のタイムゾーン（地域）や夏時間（サマータイム）を設定します。また、訪問先（✈）のタイムゾーンを登録すると、自宅（⌂）との時差（□117）を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。海外旅行などに便利です。

時差のある地域で使うには

1 マルチセレクターで［**ワールドタイム**］を選び、ⓚボタンを押す

- ［**ワールドタイム**］画面が表示されます。

2 ✈（訪問先）を選び、ⓚボタンを押す

- 訪問先の時計に切り換わります。

3 ▶を押す

- 地域の設定画面が表示されます。

4 ◀または▶を押して訪問先のタイムゾーン(都市名)を選ぶ

- 夏時間(サマータイム)が現在実施されている地域で使うときは、▲を押して夏時間の設定をオンにします。設定をオンにすると、画面上部にマークが表示され、時間が1時間進みます。オフにするときは、▼を押してください。
- Ⓚボタンを押して、訪問先を決定します。
- 訪問先の時計に設定しているときは、撮影時の画面にマークが表示されます。

時計用電池について

カメラの内蔵時計は、カメラのバッテリーとは別の時計用電池で動いています。カメラにバッテリーを入れるかACアダプターを接続すると、時計用電池が約10時間で充電され、数日間、設定した日時を記憶できます。

(自宅)の設定について

- 自宅のタイムゾーンに戻すには、手順2で[**自宅**]を選び、Ⓚボタンを押してください。
- 自宅のタイムゾーンを変更するには、手順2で[**自宅**]を選び、[**訪問先**]と同様の手順でタイムゾーンを変更してください。

夏時間の設定について

夏時間(サマータイム)が始まったときや終わったときは、手順4の地域設定画面で、夏時間のオンとオフを切り換えてください。

タイムゾーンについて

時差とタイムゾーンの関係は以下の表をご覧ください。
この表にない時差は、正しい時刻を［**日時設定**］で合わせてください。

時差 +/–	タイムゾーン
–20	Midway, Samoa（ミッドウェー、サモア）
–19	Hawaii, Tahiti（ハワイ、タヒチ）
–18	Alaska, Anchorage（アラスカ、アンカレッジ）
–17	PST (PDT): Los Angeles, Seattle, Vancouver（ロサンゼルス、シアトル、バンクーバー）
–16	MST (MDT): Denver, Phoenix（デンバー、フェニックス）
–15	CST (CDT): Chicago, Houston, Mexico City（シカゴ、ヒューストン、メキシコシティー）
–14	EST (EDT): New York, Toronto, Lima（ニューヨーク、トロント、リマ）
–13	Caracas, Manaus（カラカス、マナウス）
–12	Buenos Aires, Sao Paulo（ブエノスアイレス、サンパウロ）
–11	Fernando de Noronha（フェルナンド・デ・ノローニャ）
–10	Azores（アゾレス）
–9	London, Casablanca（ロンドン、カサブランカ）
–8	Madrid, Paris, Berlin（マドリード、パリ、ベルリン）
–7	Athens, Helsinki, Ankara（アテネ、ヘルシンキ、アンカラ）
–6	Moscow, Nairobi, Riyadh, Kuwait, Manama（モスクワ、ナイロビ、リヤド、クウェート、マナマ）
–5	Abu Dhabi, Dubai（アブダビ、ドバイ）
–4	Islamabad, Karachi（イスラマバード、カラチ）
–3.5	New Delhi（ニューデリー）
–3	Colombo, Dhaka（コロンボ、ダッカ）
–2	Bangkok, Jakarta（バンコク、ジャカルタ）
–1	Beijing, Hong Kong, Singapore（北京、香港、シンガポール）
±0	Tokyo, Seoul（東京、ソウル）
+1	Sydney, Guam（シドニー、グアム）
+2	New Caledonia（ニューカレドニア）
+3	Auckland, Fiji（オークランド、フィジー）

モニター設定

MENUボタンを押す ➔ （セットアップメニュー）（🕮112）➔ モニター設定

画面の表示内容や明るさを設定します。

モニター表示設定

撮影、再生時の画面に表示される情報について設定します。

撮影後の画像表示

- ［**ON**］（初期設定）：撮影直後に、撮影した画像を表示してから撮影画面に戻ります。
- ［**OFF**］：撮影直後に、撮影した画像を表示しません。

画面の明るさ

画面の明るさを5段階で調節できます。初期設定は［**3**］です。

［モニター表示設定］について

画面に表示される情報に関する設定を行います。
液晶モニターの表示内容については→🕮6

	撮影時	再生時
情報ON		
情報AUTO（初期設定）	［**情報ON**］と同じ表示が数秒間続いた後、［**情報OFF**］に切り換わります。	
情報OFF		
方眼＋情報AUTO	（オート撮影）モードのときに、［**情報AUTO**］の表示内容に加えて、構図を決める際の参考となる格子線を表示します。他の撮影モードでは、［**情報AUTO**］と同じです。	［**情報AUTO**］と同じです。

DATE デート写し込み

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□112）➔ DATE デート写し込み

画像に直接日時を写し込みます。日付の印字（□91）に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。

OFF（初期設定）

日付、時刻のどちらも写し込みません。

年・月・日

撮影した画像の右下に、日付を写し込みます。

年・月・日・時刻

撮影した画像の右下に、日付と時刻を写し込みます。

デート写し込みの設定は、撮影時の画面で確認できます（□6）。［**OFF**］のときは何も表示されません。

デート写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- ［**画像モード**］（□93）が［**TV TV（640）**］の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が読みづらいことがあります。画像モードは［**PC パソコン（1024）**］以上に設定してください。
- 年月日の並びは、［**日時設定**］（□16、115）での設定と同じになります。
- 電子式手ブレ補正（□113）と同時には使用できません。デート写し込みを行う設定にすると、電子式手ブレ補正は自動的に［**OFF**］になります。
- 以下の場合は日付が写し込まれません。
  - シーンモードが［**スポーツ**］（□35）、［**ミュージアム**］（□38）、または［**パノラマアシスト**］（□39）になっているとき
  - 笑顔撮影モードで［**目つぶり軽減**］（□46）が［**ON**］のとき
  - 撮影メニューの［**連写**］の設定が［**連写**］または［**BSS**］のとき（□97）
  - 動画（□70）

「デート写し込み」と「プリント指定」について

日付や撮影情報の印刷が可能なDPOF対応のプリンターでプリントするときは、［**デート写し込み**］で日時を写し込んでいない画像でも、［**プリント指定**］（□90）で撮影日時や撮影情報をプリントするように設定できます。

モーション検知

MENUボタンを押す ➔ （セットアップメニュー）（□112）➔ モーション検知

静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。

AUTO（初期設定）

カメラが被写体の動きや手ブレを検知すると、ブレを軽減するためにシャッタースピードが速くなります。
ただし、以下の場合は［**AUTO**］に設定していても、モーション検知は作動しません。

- フラッシュが発光するとき
- オート撮影モードで、［**ISO 感度設定**］（□99）を［**高感度オート**］に設定したとき、または ISO 感度を固定したとき
- ［**連写**］（□97）が［**マルチ連写**］のとき
- 一部のシーンモード（□34）

OFF

モーション検知をしません。

モーション検知の設定は、撮影時の画面で確認できます（□6、21）。カメラがブレを検知してシャッタースピードを速くしたときは、モーション検知表示は緑色に変わります。［**OFF**］のときは何も表示されません。

モーション検知のご注意

- モーション検知を設定しても、撮影状況によっては手ブレや被写体ブレを完全に軽減できないことがあります。
- 極端にブレているときや暗すぎるときは、モーション検知が作動しないことがあります。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

回 電子ズーム

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□112）➔ 回 電子ズーム

電子ズームの動作を設定します。

ON（初期設定）

光学ズームが最も望遠側にある状態でズームレバーを**T**方向に回すと、電子ズーム（□23）が作動します。

OFF

電子ズームは作動しません（動画撮影時を除く）。

電子ズームについてのご注意

- 電子ズーム作動中はAFエリア（□100）が［**中央**］に固定されます。
- 以下の場合、電子ズームは使えません。
  - シーンモードが［**おまかせシーン**］、［**ポートレート**］または［**夜景ポートレート**］のとき
  - 笑顔撮影モードのとき
  - ［**連写**］（□97）が［**マルチ連写**］のとき
  - 動画撮影開始前（動画撮影中は2倍まで作動）

操作音

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□112）➔ 操作音

操作音について設定します。

設定音

設定音（電子音1回：設定完了時など）、合焦音（電子音2回：ピントが合ったとき）、警告音（電子音3回：禁止動作を行ったときなど）およびオープニング音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。

シャッター音

シャッターをきったときのシャッター音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。

オートパワーオフ

MENUボタンを押す ➔ (セットアップメニュー)(112)➔ オートパワーオフ

電源をONにしたまま何も操作しないで一定時間が過ぎると、カメラは電池の消耗を抑えるために液晶モニターを消灯し、待機状態（15）に入ります。待機状態になると、電源ランプが点滅し、何も操作しないでさらに約3分経過すると、自動的に電源がOFFになります。
このメニューでは、カメラが無操作時に待機状態に入る時間を［**30秒**］、［**1分**］（初期設定）、［**5分**］、［**30分**］から選べます。

待機状態の解除

以下のボタンを押すと、待機状態を解除できます。
- 電源スイッチ
- シャッターボタン
- ボタン
- ボタン

オートパワーオフについてのご注意

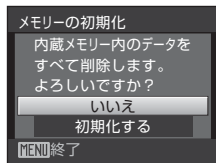
以下の場合、待機状態に入るまでの時間は固定です。
- メニュー表示中：3分
- スライドショー再生中：最大30分
- ACアダプター接続中：30分

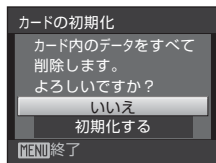
/　メモリー /カードの初期化（フォーマット）

MENUボタンを押す ➔ （セットアップメニュー）（112）
➔ メモリーの初期化/ カードの初期化

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化（フォーマット）します。

内蔵メモリーの初期化

内蔵メモリーを初期化するときは、SDカードを取り出してください。セットアップメニューの項目に［**メモリーの初期化**］が表示されます。

SDカードの初期化

SDカードをカメラに入れると、SDカードを初期化できます。セットアップメニューの項目に［**カードの初期化**］が表示されます。

初期化についてのご注意

- 内蔵メモリー/SDカードを初期化すると、内蔵メモリー/SDカード内のデータはすべて削除されます。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに転送してください。
- 内蔵メモリー /SDカードを初期化すると、お気に入りフォルダーのアイコン設定（64）は初期設定（数字アイコン）に戻ります。
- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリー/SDカードカバーを開けたりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

言語/Language

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□112）➔ 言語/Language

画面に表示される言語を、日本語（初期設定）または英語に設定します。

ビデオ出力

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□112）➔ ビデオ出力

テレビとの接続に必要な設定を行います。
ビデオの出力方式を［**NTSC**］と［**PAL**］から選べます。［**NTSC**］と［**PAL**］はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。日本ではNTSC方式が、欧州ではPAL方式が主流です。

目つぶり検出設定

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□112）➔ 目つぶり検出設定

（オート撮影）モード（□20）、シーンモードのおまかせシーン（□40）、ポートレート（□34）、夜景ポートレート（□35）で顔認識撮影（□102）したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。

ON（初期設定）

顔認識して撮影した直後に、被写体の人物が目を閉じて写っている可能性があるとカメラが検出したときは、液晶モニターに［**目つぶり確認**］画面を表示します。
目を閉じて写っている可能性のある人物の顔が黄色い枠で囲まれます。撮影した画像を見て、撮り直すかどうかを確認できます。

OFF

目つぶり検出をしません。

目つぶり確認画面の操作方法

目つぶり検出時には、[**目つぶり確認**] 画面が表示されます。

[**目つぶり確認**] 画面では、以下の操作ができます。何も操作しないまま数秒経過すると、自動的に撮影画面に戻ります。

機能	ボタン	内容
検出した顔を拡大表示する	**T**（Q）	ズームレバーを **T**（Q）方向に回します。
1コマ表示に戻る	**W**（▦）	ズームレバーを **W**（▦）方向に回します。
表示する顔を切り換える	マルチセレクター	複数の人物の目つぶりを検出した場合、拡大表示中に▲▼◀▶を押すと、拡大表示する顔が切り換わります（最大12人）。
撮影した画像を削除する	🗑	🗑ボタンを押します。
撮影画面に戻る	ⓚ / シャッターボタン	ⓚボタンまたはシャッターボタンを押します。

設定クリアー

MENUボタンを押す ➔ （セットアップメニュー）（112）➔ 設定クリアー

［**はい**］を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

撮影の基本機能

項目	初期設定
フラッシュモード（28）	AUTO
セルフタイマー（30）	OFF
マクロモード（31）	OFF
露出補正（32）	0.0

シーンモード

項目	初期設定
撮影モードメニューのシーン設定（33）	おまかせシーン
料理モードのホワイトバランス設定（41）	中央

笑顔撮影メニュー

項目	初期設定
目つぶり軽減（46）	ON

動画メニュー

項目	初期設定
動画設定（71）	TV再生 640★
電子式手ブレ補正（72）	OFF

撮影メニュー

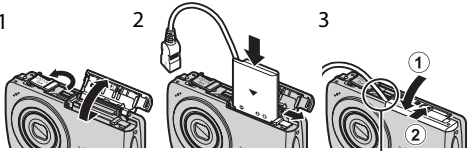
項目	初期設定
画像モード（□93）	10M 標準（3648）
ホワイトバランス（□95）	オート
連写（□97）	単写
インターバル撮影のインターバル設定（□98）	30秒
ISO感度設定（□99）	オート
ピクチャーカラー（□99）	標準カラー
AFエリア選択（□100）	顔認識オート
ゆがみ補正（□103）	OFF

セットアップメニュー

項目	初期設定
メニュー切り換え（□114）	文字タイプ
オープニング画面（□114）	なし
モニター表示設定（□118）	情報AUTO
撮影後の画像表示（□118）	ON
画面の明るさ（□118）	3
デート写し込み（□119）	OFF
モーション検知（□120）	AUTO
電子ズーム（□121）	ON
設定音（□121）	ON
シャッター音（□121）	ON
オートパワーオフ（□122）	1分
目つぶり検出設定（□124）	ON

その他

項目	初期設定
用紙設定（□86、87）	プリンターの設定
スライドショーのインターバル設定（□107）	3秒

- ［**設定クリアー**］を行うと、ファイル番号の連番（□130）もクリアーされます。クリアー後に撮影した画像には、内蔵メモリー /SDカード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。ファイル名の連番を0001に戻したいときは、内蔵メモリー /SDカード内の画像をすべて削除（□108）してから、［**設定クリアー**］を行ってください。
- 以下の項目は、［**設定クリアー**］を行っても初期設定には戻りません。
  撮影メニュー：
  ［**ホワイトバランス**］のプリセットマニュアルデータ（□96）
  セットアップメニュー：
  ［**電子式手ブレ補正**］（□113）、オープニング画面として登録した画像（□114）、［**日時設定**］（□115）、［**言語/Language**］（□124）、［**ビデオ出力**］（□124）

Ver. バージョン情報

MENUボタンを押す ➔ Y（セットアップメニュー）（□112）➔ Ver. バージョン情報

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

別売アクセサリー

充電式バッテリー	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL10
充電器	バッテリーチャージャー MH-63※
ACアダプター	ACアダプター EH-62D※ ＜EH-62Dの取り付け方＞ バッテリー /SDカードカバーを閉める前に、ACアダプターのコードがバッテリー室の溝に正しく入っていることを必ず確認してください。コードが溝からはみ出していると、カバーを閉めたときにカバーを破損する恐れがあります。
USBケーブル	USBケーブル UC-E6
AVケーブル	オーディオビデオケーブル EG-CP14

※ 日本国内専用電源コード（AC 100 V対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。
また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）http://shop.nikon-image.com/ でもお求めいただけます。

推奨SDカード

以下のSDカードの動作を確認しています。

- 以下の容量のSDカードであれば、内部データ転送速度にかかわらず使用できます。

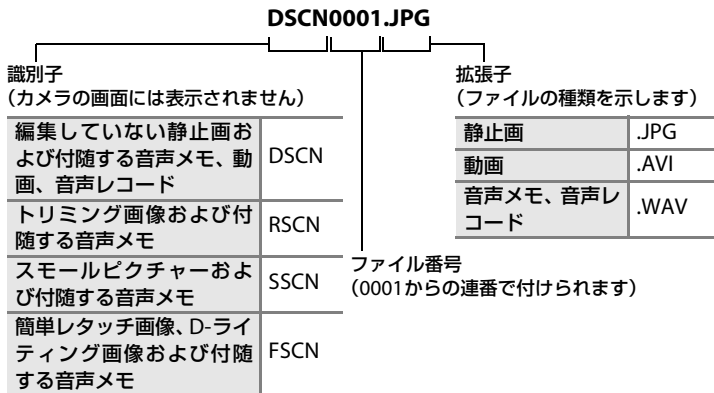
SanDisk	512 MB、1 GB、2 GB※1、4 GB※2、8 GB※2、16 GB※2
TOSHIBA	512 MB、1 GB、2 GB※1、4 GB※2、8 GB※2、16 GB※2
Panasonic	512 MB、1 GB、2 GB※1、4 GB※2、8 GB※2、16 GB※2
Lexar	1 GB、2 GB※1、4 GB※2、8 GB※2

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

※2 SDHC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。

上記カードの機能、動作の詳細については、各カードメーカーにお問い合わせください。
最新の動作確認済みSDカードについては、当社ホームページのサポート情報をご覧ください。

記録データのファイル名とフォルダー名

このカメラで撮影した静止画、動画、および音声ファイルには、以下のようなファイル名が付けられます。

- ファイルを保存するフォルダーは、「フォルダー番号＋ NIKON」（例：100 NIKON）という名前で、自動的に作られます。フォルダー内のファイル数が200に達すると、新しいフォルダーが作られます（例：100NIKON→101NIKON）。フォルダー内のファイル番号が9999に達したときも新しいフォルダーが作られ、ファイル番号は0001に戻ります。
- 音声メモのファイル名は、音声メモを録音した画像と同じ識別子とファイル番号になります。
- 音声レコード（□74）のデータは「SOUND」フォルダーに保存されます。
- パノラマアシストモード（□43）では、撮影のたびに「フォルダー番号＋P_XXX」という名前のフォルダー（例：101P_001）が作られ、ファイル番号0001から始まる一連の画像が保存されます。
- インターバル撮影（□98）では撮影のたびに「フォルダー番号＋INTVL」という名前のフォルダー（例：101INTVL）が作られ、ファイル番号0001から始まる一連の画像が保存されます。

- 画像データや音声データを内蔵メモリーとSDカードの間でコピーする場合（📖78、109）、ファイル名は以下のようになります。
  - 「選択画像コピー」または「選択データコピー」：使用中のフォルダー（または次回の撮影で使われるフォルダー）に、データがコピーされます。コピーされたデータのファイル名は、「内蔵メモリーおよびSDカード内の最大ファイル番号＋1」から連番で付けられます。
  - 「全画像コピー」または「全データコピー」：データはフォルダーごとにコピーされます。フォルダー名は「コピー先の最大フォルダー番号＋1」から連番で付けられます。
    ファイル名は変わりません。
- フォルダー番号が999のときにファイル数が200個またはファイル番号が9999に達すると、それ以上撮影できません。SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化（📖123）してください。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ

レンズのガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないように注意してください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布などでガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れないときは、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますのでご注意ください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。強く拭くと破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

カメラボディー

ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。
ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

保管について

長期間カメラをお使いにならないときは、バッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前に、電源がOFFになっていることをご確認ください。次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50 ℃以上、または－10 ℃以下の場所
- 湿度が60%を超える場所

取り扱い上のご注意

カメラについて

● 強いショックを与えないでください
カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズやレンズバリアーに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください
カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください
極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください
強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください
太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は撮像素子の褪色・焼き付きを起こす恐れがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 保管する際には
カメラを長期間お使いにならないときは、必ずバッテリーを取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● バッテリーやACアダプターを取り外すときは必ず電源をOFFにしてください
電源がONの状態で、バッテリーやACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● 液晶モニターについて
- 液晶モニターの特性上、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。記録される画像には影響はありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくいことがあります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。ホコリやゴミなどが付着したときは、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

● スミアーについて

明るい被写体にレンズを向けると、液晶モニターに色のついた光の帯が表れることがあります。この現象をスミアーといいますが、故障ではありません。
マルチ連写と動画以外の撮影では、記録される画像にスミアーの影響はありません。
マルチ連写と動画の撮影では、太陽や電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

バッテリーについて

● 使用上のご注意

- 長時間お使いになったバッテリーは、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が 0 ～ 40 ℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能劣化や故障の原因となります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたときは、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属のバッテリーケースに入れてください。

● 充電について

撮影の前に、充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんので、ご注意ください。

- 周囲の温度が 5～35 ℃ の室内で充電してください。
- 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電しないでください。バッテリー性能が劣化します。
- 充電直後にバッテリーの温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっているときは、バッテリーの温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因となります。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、日本国外の地域によっては入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

● 低温時のバッテリーについて

バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時にお使いになるときは、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

● 低温時には容量の充分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

消耗したバッテリーを低温時に使うと、カメラが作動しないことがあります。低温時の撮影には充分に充電したバッテリーと予備のバッテリーを用意してください。予備のバッテリーは保温し、交互にあたためながらお使いください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使える場合があります。

● バッテリー接点について

- バッテリーの接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがありますので、ご注意ください。
- 汚れた接点は、乾いた布できれいに拭いてからお使いください。

● 残量について

残量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してからお使いください。

● 保管について

- バッテリーをお使いにならないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。カメラやバッテリーチャージャーに取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微小電流が流れ続けることで過放電になり、使えなくなるおそれがあります。
- バッテリーは、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- バッテリーは付属のバッテリーケースに入れて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15～25 ℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。

● 寿命について

充分に充電したにもかかわらず、バッテリーの使用期間が極端に短くなってきたときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

● リサイクルについて

充電を繰り返して劣化し、使えなくなったバッテリーは、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

警告メッセージ

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下のとおりです。

表示	意味	対処法	📖
(点滅)	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	115
	電池の残量が少なくなりました。	バッテリーを充電または交換の準備をしてください。	12
電池残量がありません	電池の残量がありません。	バッテリーを充電または交換してください。	12
電池が高温です	バッテリーの温度が高温になっています。	電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。このメッセージが出ると5秒後に液晶モニターが消灯し、電源ランプとフラッシュランプが同時に高速点滅を開始します。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできます。	15
AF● (赤色点滅)	ピントを合わせることができません。	• ピントを合わせ直してください。 • フォーカスロック撮影をお試しください。	24、25 101
記録中 しばらくお待ちください	画像の記録中です。	記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	25
カードがロックされています	SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。	「Lock」を解除してください。	19
このカードは使えません	SDカードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みのカードを使ってください。 • カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 • カードが正しく挿入されているか確認してください。	129 18 18
カードに異常があります			
このカードは初期化されていません 初期化しますか？ いいえ はい	SDカードが、COOLPIX S220用に初期化されていません。	［はい］を選んでOKボタンを押し、SDカードを初期化してください。	19

表示	意味	対処法	📖
メモリー残量がありません	データを記録する空き容量がありません。	• 画像モードを変更してください。 • 不要な画像や音声データを削除してください。 • SD カードを交換してください。 • SD カードをカメラから取り出し、内蔵メモリーを使ってください。	93 26、73、77 18 18
画像を保存できません	画像記録中にエラーが発生しました。	内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	123
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	• SD カードを交換してください。 • 内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	18 123
	オープニング画面に登録できない画像です。	［**画像モード**］を［**16:9(3584)**］にして撮影した画像、およびトリミングやスモールピクチャーで作成した画像サイズ320×240以下の画像は登録できません。	53、54、93
	画像コピー先の容量不足です。	コピー先の不要な画像を削除してください。	108
これ以上、お気に入り登録できません	お気に入りフォルダーの登録画像数が 200 コマを超えました。	• 画像のお気に入り登録を解除してください。 • 別のお気に入りフォルダーに登録してください。	66 65
枚数制限を超えています。選択した日以外のプリント指定を取り消しますか？	前回のプリント指定と今回のプリント指定の合計コマ数が 99 コマを超えています。	［**はい**］を選んで OK ボタンを押すと、前回の設定を削除し、今回の設定だけを残します。 ［**キャンセル**］を選んで OK ボタンを押すと、前回の設定を残し、今回の設定を取り消します。	–
枚数制限を超えています。選択した画像以外のプリント指定を取り消しますか？			
音声を登録できません	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	• SD カードを交換してください。 • 内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	18 123
記録した画像に目を閉じた人がいるかもしれません	目つぶりを検出した画像を記録しました。	画像を再生して確認してください。	46

付録

表示	意味	対処法	📖
この画像は編集できません	編集できない画像を編集しようとしました。	簡単レタッチ、D-ライティング、トリミングまたはスモールピクチャーが可能な条件を確認してください。	50
動画記録できません	SDカードに動画を記録するのに時間がかかっています。	画像記録処理の速いSDカードに交換してください。	129
撮影画像がありません	撮影済みの画像がありません。	内蔵メモリーからSDカードにコピーする場合は、MENUボタンを押してください。［**画像コピー**］が表示されます。	109
	オート分類再生モードで選んだ項目に、分類された画像がありません。	画像の分類された項目を選んでください。	62
	オート分類モードで再生できる画像がありません。	再生モード、撮影日一覧モード、またはお気に入り再生モードで再生してください。	62
	選んだお気に入りフォルダーに画像が登録されていません。	• 画像をお気に入りフォルダーに登録してください。 • 画像の登録されたお気に入りフォルダーを選んでください。	65 66
音声データがありません	コピー元に音声データがありません。	コピーする方向を確認してください。	78
このファイルは表示できません	COOLPIX S220以外で作成されたファイルです。	このカメラでは再生できません。ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	–
このデータは再生できません			
このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかかっています。	プロテクトを解除してください。	108
自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	–	117

表示	意味	対処法	📖
レンズエラー ❗	レンズの作動不良です。	電源を入れ直してください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	20
ⓘ 通信エラー	プリンターとの通信中に、USBケーブルが外れました。	カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をやり直してください。	81、85
システムエラー ❗	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	14、20
ⓘ プリンターエラー：プリンターを確認してください	プリンターに異常があります。	プリンターを確認し、エラーの原因を取り除いた後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
ⓘ プリンターエラー：用紙を確認してください	指定したサイズの用紙がセットされていません。	指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
ⓘ プリンターエラー：紙詰まりです	用紙が詰まりました。	詰まった用紙を取り除いた後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
ⓘ プリンターエラー：用紙がありません	用紙がセットされていません。	指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
ⓘ プリンターエラー：インクを確認してください	インクに異常があります。	インクを確認した後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
ⓘ プリンターエラー：インクがありません	インクがなくなりました。	インクを交換した後、［**継続**］を選んでⓀボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
ⓘ プリンターエラー：ファイルが異常です	プリントする画像ファイルに異常があります。	［**キャンセル**］を選びⓀボタンを押して、プリントを中止してください。	–

※ プリンターの使用説明書もあわせてご覧ください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

表示・設定・電源関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
液晶モニターに何も映らない	• 電源が入っていません。 • バッテリー残量がありません。 • 節電機能により待機状態になっています。電源スイッチ、シャッターボタン、📷ボタン、または▶ボタンを押してください。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 • カメラとパソコンがUSBケーブルで接続されています。 • カメラとテレビがAVケーブルで接続されています。 • インターバル撮影中です。	20 20 15、21 29 81 79 98
液晶モニターがよく見えない	• 液晶モニターの明るさを調整してください。 • 液晶モニターが汚れています。	118 132
カメラの電源が突然切れる	• バッテリー残量がありません。 • 無操作状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働きました。 • 低温下ではカメラやバッテリーが正常に動作しないことがあります。	20 122 134
撮影日時が正しく表示されない	• 日時を設定していない場合は（撮影時に時計マークが点滅している）、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時や音声レコードの録音日時が「2009/01/01 00:00」と記録されます。カレンダー表示や撮影日一覧モードでは、2009年1月1日の画像として扱われます。［**セットアップ**］メニューの［**日時設定**］で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないので、定期的に日時設定を行うことをおすすめします。	16、48 115
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー［**モニター設定**］の［**モニター表示設定**］が［**情報OFF**］になっています。	118
［**デート写し込み**］が選べない	セットアップメニュー［**日時設定**］が設定されていません。	16、115

付録

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
［**デート写し込み**］を有効にしたのに、日付が写し込まれない	以下の場合は日付が写し込まれません。 • シーンモードが［**スポーツ**］、［**ミュージアム**］または［**パノラマアシスト**］になっているとき • 笑顔撮影モードで［**目つぶり軽減**］が［**ON**］のとき • 撮影メニュー［**連写**］モードが［**連写**］または［**BSS**］になっているとき • セットアップメニューの［**電子式手ブレ補正**］が［**AUTO**］になっているとき • 動画	35、38、39 46 97 113 70
設定内容が初期状態に戻ってしまった	バックアップ電池が切れたため、設定がリセットされました。	116
液晶モニターが消灯し、電源ランプとフラッシュランプが同時に高速点滅する	バッテリーの温度が高温になっています。電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできます。	15

●デジタルカメラの特性について

きわめて希に、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたはSDカードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続くときは、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影できない	• 再生モードになっているときは、◘ボタンまたはシャッターボタンを押してください。 • メニューが表示されているときは、MENUボタンを押してください。 • バッテリー残量がありません。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。	26 10 20 29
ピントが合わない	• オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 • 電源を入れ直してください。	25 20

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像がぶれる	• フラッシュを使ってください。 • 撮影メニュー［**ISO 感度設定**］を［**高感度オート**］にして撮影してください。 • 電子式手ブレ補正機能やモーション検知機能を使ってください。 • BSS（ベストショットセレクター）を使ってください。 • 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	28 99 113、120 97 30
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを⊘（発光禁止）にしてください。	29
フラッシュが発光しない	• フラッシュモードが⊘（発光禁止）になっています。 • フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 • 🎥 モードになっています。 • 撮影メニュー［**連写**］モードが［**連写**］、［**マルチ連写**］または［**BSS**］になっています。	28 34～39 70 97
光学ズームが使えない	動画撮影中は使えません。	70
電子ズームが使えない	• セットアップメニュー［**電子ズーム**］が［**OFF**］になっています。 • 以下の場合は電子ズームが使えません。 - シーンモードが［**おまかせシーン**］、［**ポートレート**］または［**夜景ポートレート**］になっているとき - 笑顔撮影モードのとき - 動画の撮影開始前（動画撮影中は 2 倍まで作動） - 撮影メニュー［**連写**］モードが［**マルチ連写**］のとき	121 34、35 45 70 97
［**画像モード**］が選べない	撮影メニュー［**連写**］モードが［**マルチ連写**］のときは、設定できません。	97
シャッター音が鳴らない	• セットアップメニュー［**操作音**］の［**シャッター音**］が［**OFF**］になっています。 • 撮影メニュー［**連写**］モードが［**連写**］、［**マルチ連写**］または［**BSS**］になっています。 • シーンモードが［**スポーツ**］または［**ミュージアム**］になっています。 • 🎥 モードになっています。 • スピーカーをふさがないでください。	121 97 35、38 70 4、22
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	132
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスが選ばれていません。	95

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 • フラッシュを使ってください。 • 低い ISO 感度にしてください。 • ノイズ低減機能付きのシーンモードで撮影してください。	 28 99 34～39
画像が暗すぎる	• フラッシュモードが（発光禁止）になっています。 • フラッシュが指などでさえぎられています。 • 被写体にフラッシュの光が届いていません。 • 露出を補正してください。 • 撮影メニュー［**ISO 感度設定**］を［**高感度オート**］にするか、ISO 感度を上げてください。 • 逆光で撮影しています。シーンモードの［**逆光**］にするか、フラッシュモードを（強制発光）にしてください。	28 22 28 32 99 28、39
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	32
赤目以外の部分が補正された	（赤目軽減自動発光）や、シーンモードの［**夜景ポートレート**］の赤目軽減スローシンクロ強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。［**夜景ポートレート**］以外の撮影モードで、フラッシュモードを（赤目軽減自動発光）以外にして撮影してください。	28、35

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	• パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名やフォルダー名が変更されました。 • インターバル撮影中です。	ー 98
画像の拡大表示ができない	動画やスモールピクチャー、320×240以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。	ー
音声メモの録音や再生ができない	• 動画には音声メモを付けられません。 • このカメラ以外で撮影した画像には、このカメラで音声メモを付けられません。また、このカメラ以外で画像に音声メモを付けると、このカメラで再生できません。	73 56

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
簡単レタッチ、D-ライティング、トリミング、スモールピクチャーができない	• 動画は編集できません。 • ［**画像モード**］を［**16:9(3584)**］にして撮影した画像は、編集できません。 • 簡単レタッチ、D-ライティング、トリミング、スモールピクチャーが可能な条件を確認してください。 • このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。 • 他のデジタルカメラでは、編集した画像の正常な表示やパソコンへの転送ができないことがあります。	73 93 50 50 50
画像がテレビに映らない	• セットアップメニュー［**ビデオ出力**］が正しく設定されていません。 • 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときは SD カードを取り出してください。	124 18
お気に入りフォルダーのアイコン設定が初期設定に戻っていたり、お気に入り登録した画像がお気に入り再生で表示できない	SD カード内のデータがパソコンで書き換えられると、再生できないことがあります。	—
撮影した画像がオート分類再生モードで再生できない	• 表示したい画像が、参照している項目とは別の項目に分類されています。 • COOLPIX S220 以外で撮影した画像または［**画像コピー**］でコピーした画像は、オート分類再生モードで表示できません。 • 内蔵メモリー/SDカード内の画像がパソコンで書き換えられると、表示できないことがあります。 • 1 つの分類項目で表示できるのは、999 コマまでです。すでに 999 枚登録されている場合は、それ以降に撮影した画像は登録されません。	60 61 — —
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transferが自動起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • バッテリー残量がありません。 • USB ケーブルが正しく接続されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • Nikon Transfer が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer については、Nikon Transfer のヘルプをご覧ください。 • 対応 OS を確認してください	20 20 81 — — 80

付録

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
プリントする画像が表示されない	画像が記録されていないSDカードが入っています。SDカードを交換してください。内蔵メモリーの画像をプリントするときはSDカードを取り出してください。	18
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」を行うことができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。	 86、87 —

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX S220

項目	仕様
型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	10.0メガピクセル
撮像素子	1/2.33型原色CCD、総画素数10.34メガピクセル
レンズ	光学3倍 ズーム、NIKKORレンズ
焦点距離	6.3-18.9mm（35mm 判換算35-105mm 相当の撮影画角）
絞り	f/3.1-5.9
レンズ構成	5群6枚
電子ズーム	最大4倍（35mm判換算で約420mm相当の撮影画角）
手ブレ補正	電子式
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離	・レンズ前約 60 cm ～∞ ・マクロモード時は約10 cm（△マークから広角側）～∞
AFエリア	顔認識オート、オート（9点）、中央、マニュアル（99点）
液晶モニター	2.5型TFT液晶、約15万ドット 輝度調節機能付き（5段階）
視野率（撮影時）	上下左右とも約97 %（対実画面）
視野率（再生時）	上下左右とも約100 %（対実画面）
記録方式	
記録媒体	内蔵メモリー（約44 MB）、SDメモリーカード
画像ファイル	DCF、Exif 2.2、DPOF準拠
ファイル形式	圧縮：JPEG-Baseline準拠 動画：AVI 音声：WAV
画像モード（記録画素数）	・3648 × 2736［**高画質（3648 ★）/ 標準（3648）**］ ・2592 × 1944［**標準（2592）**］ ・2048 × 1536［**エコノミー（2048）**］ ・1024 × 768［**パソコン（1024）**］ ・640 × 480［**TV（640）**］ ・3584 × 2016［**16:9（3584）**］

項目		仕様
ISO感度（標準出力感度）		ISO 80、100、200、400、800、1600、2000、オート（ISO 80～800）、高感度オート（ISO 80～1600）
露出		
	測光方式	マルチパターン測光（256分割）、中央部重点測光（電子ズームが2倍までのとき）、スポット測光（電子ズームが2倍以上のとき）
	露出制御	プログラムオート、モーション検知機能付き、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能
	露出連動範囲（ISO 100）	広角側：0.3～14.7 EV 望遠側：2.1～16.4 EV
シャッター		メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
	シャッタースピード	1/1000～2 秒 4 秒（シーンモードの［**打ち上げ花火**］）
絞り		電磁駆動による絞り開口選択方式
	制御段数	2（f/3.1、f/4.6［**広角側**］）
セルフタイマー		約10秒、約2秒
内蔵フラッシュ		
	調光範囲（ISO感度設定オート時）	約0.6～4.6 m（広角側） 約0.6～2.5 m（望遠側）
	調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
インターフェース		Hi-Speed USB
	通信プロトコル	MTP、PTP
ビデオ出力		NTSC、PALから選択可能
入出力端子		オーディオビデオ出力/デジタル端子（USB）
言語		日本語、英語の2言語
電源		Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL10（リチウムイオン充電池：付属）×1個 ACアダプター EH-62D（別売）
撮影可能コマ数（電池寿命）※		約180コマ（EN-EL10使用時）
寸法（幅×高さ×奥行き）		約89.5×55.5×18 mm（突起部除く）
質量		約100 g（バッテリー、SDメモリーカード除く）
動作環境		
	使用温度	0～40 ℃
	使用湿度	85 %以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは、すべて常温（25 ℃）、リチャージャブルバッテリーEN-EL10をフル充電で使用時のものです。

※ 電池寿命測定方法を定めたCIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。測定条件は、23(±2) ℃、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でのフラッシュ撮影、画像モード［**標準（3648）**］です。撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などにより、コマ数は変動することがあります。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL10

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	DC 3.7 V、740 mAh
使用温度	0～40 ℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約31.5×39.5×6 mm（突起部除く）
質量	約15 g（バッテリーケースを除く）

バッテリーチャージャー MH-63

定格入力	AC 100-240 V、50/60 Hz、0.07-0.045 A
定格入力容量	7-10.8 VA
定格出力	DC 4.2 V、0.55 A
適用充電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL10
充電時間	約100分 ※残量のない状態からの充電時間
使用温度	0～40 ℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約54×20×85 mm（電源コードを除く）
電源コード	長さ約1.8 m、日本国内専用、AC 100 V 対応
質量	約55 g（電源コードを除く）

使用説明書について

- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF)：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録方式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.2：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。
  この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。
  詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

索引

マーク・英数字

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

付録

マ

ヤ

ラ

ワ

アフターサービスについて

■この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理について、ご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご覧ください。

●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービス機関にご依頼ください。

- ニコンサービス機関につきましては、「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービス機関にご相談ください。
- 修理に出されるときに、SDカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店またはニコンサービス機関へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社ホームページでご覧いただくことができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/support/

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

FAX:(03)5977-7499

【お問い合わせ承り書】 太枠内のみご記入ください

お問い合わせ日：	年　　月　　日
お買い上げ日：	年　　月　　日
製品名：	シリアル番号：
フリガナ お名前：	
連絡先ご住所：□自宅　　□会社 〒 TEL: FAX:	
ご使用のパソコンの機種名： メモリー容量： OS のバージョン： その他接続している周辺機器名： ご使用のアプリケーションソフト名： ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名：	 ハードディスクの空き容量： ご使用のインターフェースカード名：
問題が発生した時の症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度： （おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください）	

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

製品の使い方と修理に関するお問い合わせ

<ニコンカスタマーサポートセンター>

全国共通電話番号 **0570-02-8000** にお電話を頂き、音声によるご案内に従いご利用窓口の番号を入力して頂ければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせて頂きます。

☎ **0570-02-8000**
市内通話料金でご利用いただけます

営業時間:9:30〜18:00（年末年始、夏期休業等を除く毎日）
携帯電話、PHS、IP電話等をご使用の場合は、（03）5977-7033 におかけください。
FAXでのご相談は、（03）5977-7499 におかけください。

修理サービスのご案内

修理サービスのご案内を下記URLにて行っております。
インターネットを利用して修理の申し込みができます。
「修理見積もり」、「修理状況」、「納期」などもご確認できますのでご利用ください。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/repair/

<インターネットをご利用できない方の修理品送り先>
（株）ニコン イメージング ジャパン 修理センター
〒230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26 電話:（045）500-3050
営業時間:9:30〜17:30（土、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業など弊社定休日を除く毎日）

● 修理センターではご来所の方の窓口がございません。送付のみの対応となりますのでご了承ください。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

Printed in Japan
YP8K02(10)
6MM65910-02